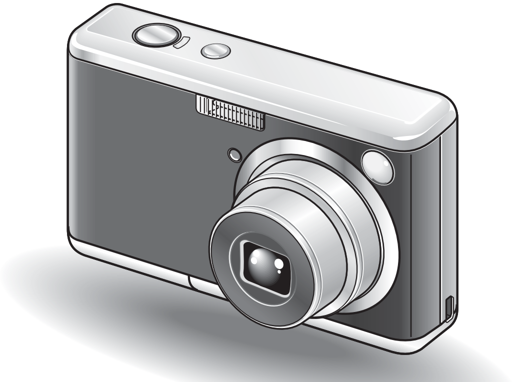
取扱説明書

SANYO

デジタルカメラ
品番 DSC-S6

Xacti



準　備 ▶

基本操作 ▶

撮　影 ▶

再　生 ▶

オプション設定 ▶

他の機器との接続 ▶

CD-ROMを使う ▶

付　録 ▶

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

■ **Concerning the LCD monitor display language**（外国語を話されるお客さまへ）
The display language on this camera's LCD monitor can be changed (page 193).

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

撮影をするまでに、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

撮影と再生の基本操作を説明しています。

撮影に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

再生に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

液晶モニターの表示や操作音、さらにカメラの動作に関する設定のしかたを説明しています。

パソコンやプリンタへの接続のしかたを説明しています。

付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)の使いかたを説明しています。

カメラを使っていて困った状態になった時や仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

ヒント	もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項
注意!	特に注意していただきたい事項
[P]	参照ページ

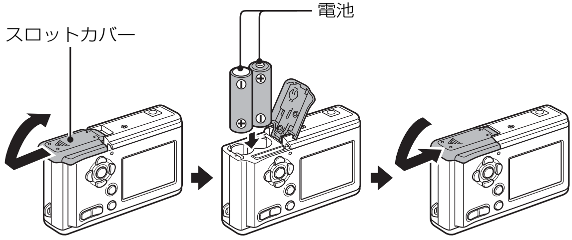
操作中に疑問に感じたり故障かな？と思った時は、「よくある質問 [P160]」と「困った状態になった時 [P165]」をご参照ください。

とにかく撮って、見てみよう

電池を装着する

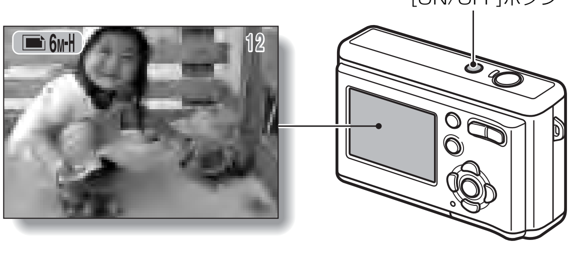
1 スロットカバーを開けて、電池を入れる

● スロットカバーは、カメラの底面にあります。



2 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れる

● 静止画撮影画面が出ます。

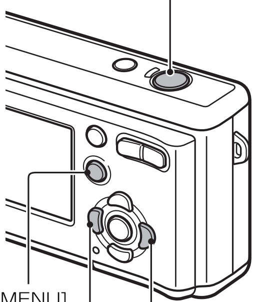


撮影する

静止画撮影

1 **シャッターボタンを押す**

- 撮影ができました。

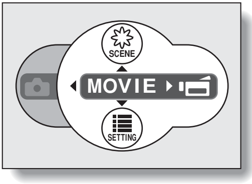


動画クリップ撮影

1 **[MENU]ボタンを押して、方向ボタンの[►]を押す**

- 動画クリップ撮影モードになります。

2 **[MENU] ボタンを押す**



3 **シャッターボタンを押す**

- 録画が始まります。
- もう一度シャッターボタンを押すと、録画を終了します。
- [MENU]ボタンを押して方向ボタンの[◄]を押し、[MENU]ボタンを押すと静止画撮影モードになります。

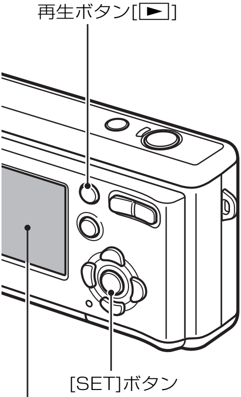
注意！
このカメラは、音声は記録しません
- 動画クリップ撮影では、画像だけを記録します。

再生する

静止画像再生

1 再生ボタン[►]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◄]または[►]を押すと、他の画像が見れます。
- 再生ボタン[►]を押すと、撮影画面に戻ります。



動画クリップ再生

1 再生ボタン[►]を押す

- 再生画面に切り替わります。
- 方向ボタンの[◄]または[►]を押して、再生する動画クリップを出してください。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

2 [SET] ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 再生ボタン[►]を押すと、撮影画面になります。



<動画クリップ再生画面>

使い終わったら・・

[ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

<table>
<tr><th></th><th>基本的な使いかた</th><th>便利な機能</th><th>さらに使うには</th></tr>
<tr><td rowspan="6">撮影</td><td></td><td colspan="2">カメラの感度を上げる
►ISO感度を設定する[P74]</td></tr>
<tr><td colspan="3">人物を撮影する
►シーンセレクト機能を設定する(ポートレートモード･夜景モード)[P46]
►シャッター動作を設定する(証明写真撮影)[P71]
►フィルターを設定する(コスメフィルター)[P49]
►フラッシュを設定する(赤目軽減)[P41]</td></tr>
<tr><td colspan="3">風景を撮影する
►シーンセレクト機能を設定する(風景モード)[P46]
►フォーカスレンジを設定する(遠景モード)[P63]</td></tr>
<tr><td colspan="3">自分も撮影する
►セルフタイマーを設定する[P65]</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>明るく/暗く撮影する
►露出を補正する[P43]</td><td>一部分の明るさだけを測って撮影する
►測光方式を設定する[P73]
カメラの感度を調整する
►ISO感度を設定する[P74]</td></tr>
<tr><td>色を変えて撮影する
►フィルターを設定する(モノクロフィルター・セピアフィルター)[P49]</td><td>自然な白に撮影する
►ホワイトバランスを設定する[P75]</td></tr>
</table>

使いかた早見もくじ（つづき）

<table>
<tr><th></th><th>基本的な使いかた</th><th>便利な機能</th><th>さらに使うには</th></tr>
<tr><td rowspan="5">再生</td><td>とりあえず再生をする
▶動画クリップ再生をする[P37]</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>▶静止画像を再生する[P33]</td><td>画像データを探す
▶9画面マルチ再生をする[P34]
画像の一部を大きく表示する
▶拡大（ズーム）表示をする[P35]</td><td>ピント合わせの状態をチェックする
▶ズームジャンプ再生をする[P86]
表示の角度を変える
▶画像を回転表示する[P88]</td></tr>
<tr><td colspan="3">連続して再生する
▶スライドショー再生をする[P99]</td></tr>
<tr><td colspan="3">液晶モニターの表示を明るく/暗くする
▶液晶モニターの明るさを設定する[P110]</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">データの管理/加工</td><td colspan="3">画像データを探す
▶9画面マルチ再生する[P34]</td></tr>
<tr><td>データを消す
▶データを消去する[P84]</td><td colspan="2">大切な画像を保護する
▶プロテクト（消去禁止）を設定する[P82]
カードを初期化（フォーマット）する
▶カード・内蔵メモリーを初期化する[P117]</td></tr>
<tr><td colspan="3">印刷枚数やインデックス印刷、日付印刷の設定をする
▶プリントを設定する[P92]</td></tr>
<tr><td colspan="3">撮影した時の情報を見る
▶画像情報を表示する（インフォ画面）[P101]</td></tr>
</table>

もくじ

■準備

■基本操作

もくじ(つづき)

■撮影(簡単モード)

■撮影(撮影設定画面)

■再生

もくじ(つづき)

■オプション設定

■他の機器との接続

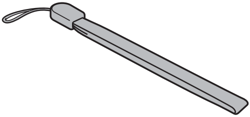
■CD-ROMを使う

もくじ(つづき)

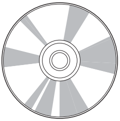
■付録

付属品を確認する

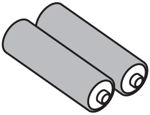
●ハンドストラップ：1本



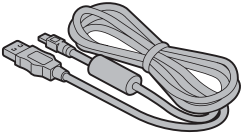
●CD-ROM
（SANYO Software Pack）：1枚



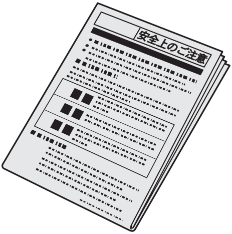
●単3形アルカリ乾電池：2本
（メーカー組込専用電池）



●専用USB接続ケーブル：1本



●安全上のご注意
（安全注意説明書）
※必ずお読みください。

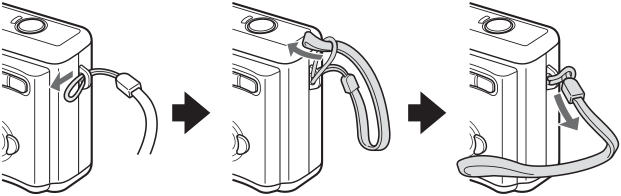


●簡単操作ガイド



付属品を確認する（つづき）

ハンドストラップの付けかた



別売品

- **ACアダプター（品番：DSA-34A）**
  本機に接続できる専用のACアダプターです。
- **ニッケル水素電池(品番：HR-3UF-2BP)**
  単3形ニッケル水素電池2本パックです。
- **急速充電器(品番：NC-MR57)**
  単3形/単4形、ニッケル水素電池/ニカド電池対応のリフレッシュ機能付き充電器です。
- **カメラケース(品番：VCP-S6L)**
  専用本革ケースです。
- **SDメモリーカード(品番：KA-HPC-SD128)**
  メモリー容量128MBのSDメモリーカードです。

このカメラで使えるカードについて

このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**
- **マルチメディアカード**

カードの表記について

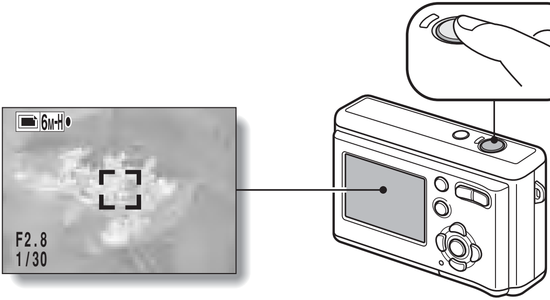
- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリーカードやマルチメディアカードを「カード」と表記します。
- 本書で掲載しているカードのイラストはSDメモリーカードですが、装着・取りはずし・初期化などは、マルチメディアカードの場合でも同じ操作でできます。

このカメラの楽しみかた

このカメラは、静止画と動画クリップの撮影ができるデジタルカメラです。
素早いピント合わせや大型モニターを活かした分かりやすいガイダンス表示、さらに豊富なシーンセレクト機能など、デジタルカメラならではの機能を数多く搭載しております。

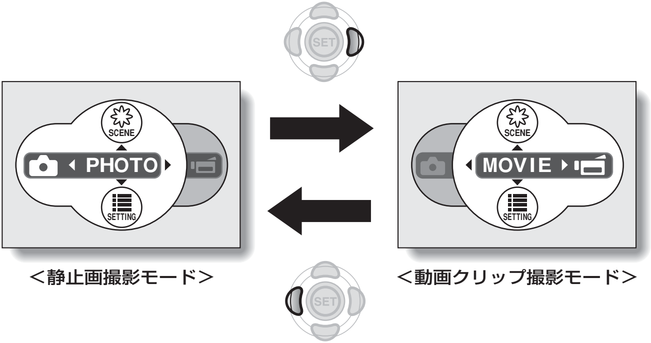
素早いピント合わせでシャッターチャンスに強い－タッチフォーカス－ [P26]

シャッターボタンに触れるだけで、自動的にピントを合わせるタッチセンサー付きシャッターボタン(タッチフォーカス)を搭載。素早いピント合わせで、シャッターチャンスを逃しません。



モードセレクト画面

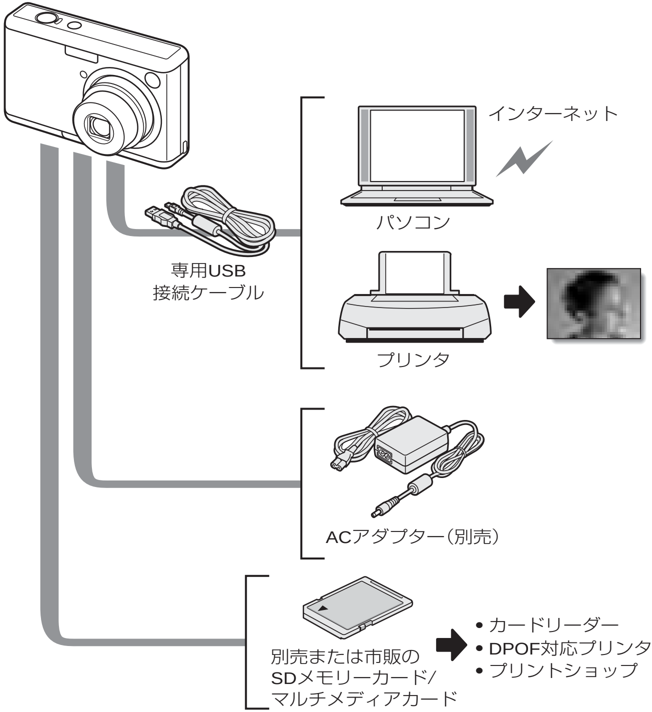
静止画撮影モードと動画クリップ撮影モードを画面上のワンアクションで切り替えることができます。撮影設定画面の表示も素早く行えます。



＜静止画撮影モード＞　＜動画クリップ撮影モード＞

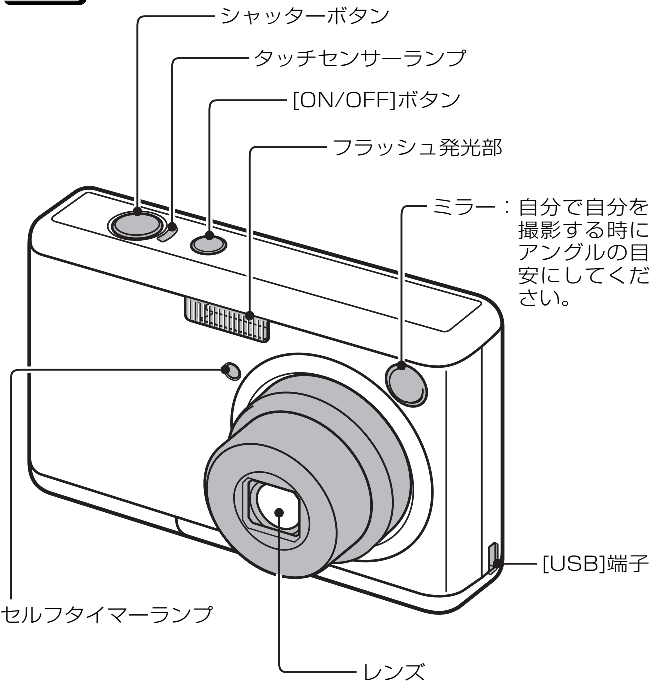
システムマップ

付属品を使うと、カメラをパソコンやプリンタに接続することができます。パソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンのハードディスクなどにコピーすることができます。プリンタに接続すると、撮影した画像を直接プリントすることができます。また、カードを使うと撮影した画像をプリントショップでプリントすることもできます。



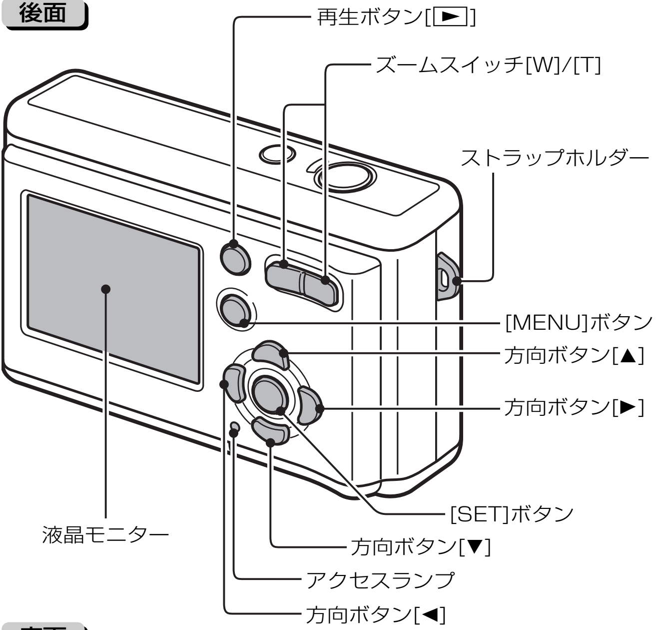
各部の名前

前面

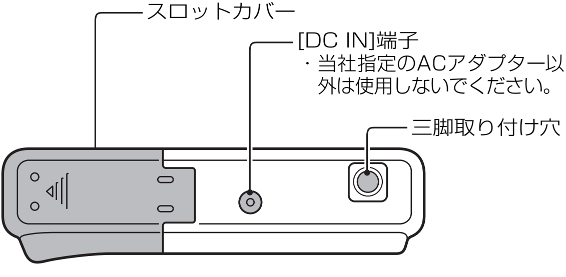

シャッターボタン
タッチセンサーランプ
[ON/OFF]ボタン
フラッシュ発光部
ミラー：自分で自分を撮影する時にアングルの目安にしてください。
[USB]端子
セルフタイマーランプ
レンズ

各部の名前（つづき）

後面



底面

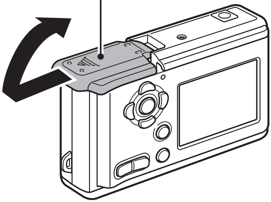


カードと電池を装着する

このカメラには 15MB のメモリーを内蔵しており、カードがなくても撮影することができますが、カードを装着すると、さらに多くの画像を撮影することができます。
カードは、このカメラで初期化(フォーマット)[P117]してから使用してください。

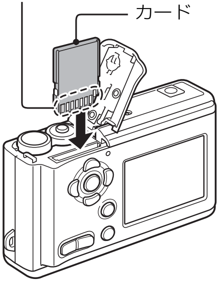
1 スロットカバーを開ける

- スロットカバーを軽く押しながらスライドして開けてください。



2 カードを入れる

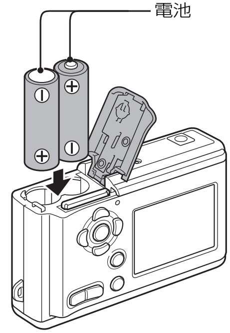
- カチッと音がするまで、しっかりと入れてください。



カードと電池を装着する（つづき）

3 電池を入れる

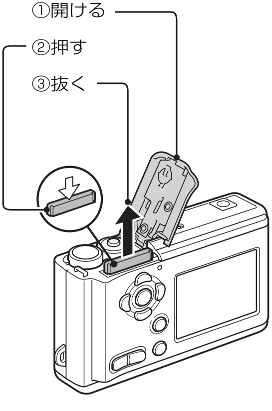
- 電池は極性（プラス⊕、マイナス⊖）に注意して装着してください。



4 スロットカバーを閉じる

カードを取り出す時は…

- カードを取り出す時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。



注意!

カードの取り出しにご注意

- カードは無理に抜かないでください。
- アクセスランプが速い周期で点滅している時は、絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

マンガン乾電池は使わない

- マンガン乾電池は電池の寿命が短いばかりではなく、電池の発熱などにより本機の故障の原因になることがあります。

他の電池を使うには

- アルカリ乾電池(LR6)以外の電池を使う場合は、以下の電池をおすすめします。
  - ・単3形ニッケル水素電池(当社製HR-3UF：2本)
  - ・単3形ニカド電池(当社製N-3UV：2本)

  電池を入れる向きに注意してください。

電源が入っているときは、電池カバーを開けない

- 電源が入っているときは、電池カバーを開けないでください。データが壊れることがあります。それらの操作による損害について当社は、一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

ヒント

カードがなくても撮影できます

- カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しないと内蔵メモリー(15MB)で撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、液晶モニターに内蔵メモリーアイコンINTが出ます。

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは、日付·時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しない時は電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しない時は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付·時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアすることがありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

撮影をする場合

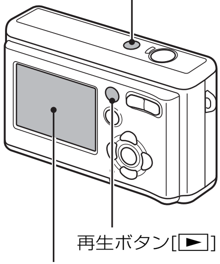
1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が入ります。
- 電源を入れると、前回に電源を切った時の撮影モードになります。

再生をする場合

1 **再生ボタン[►]を約 1 秒以上押す**

- 液晶モニターに再生画面が出ます[P33]。



電源の切りかた

1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が切れます。

<再生ボタン[►]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[►]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約5分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下のいずれかの操作をすると電源が入ります。
  - **再生ボタン[▶]を押す**
  - **シャッターボタンを押す**
  - **[SET]/[MENU]ボタンを押す**
  - **[ON/OFF]ボタンを押す**
- ACアダプターを接続している場合、電源を入れてから約10分後にパワーセーブ機能が働きます(工場出荷時の設定)。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、変更することができます[P112]。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している時は、パワーセーブ状態にならず、約12時間後に電源が切れます。

ヒント

⊙?アイコンが出る?

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付·時刻の設定[P23]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため、⊙?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影した日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

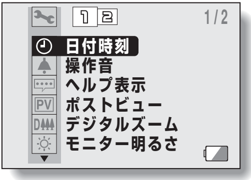
[例]：2005年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れ、[MENU] ボタンを押す

2 方向ボタンの[▼]を押す

- 撮影設定画面が出ます[P51]。

3 オプション画面を出す[P102]

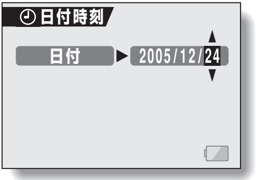


4 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して日付時刻アイコン[◷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 日付時刻設定画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定する時は、以降の操作をしてください。
- オプション画面に戻る時は、[MENU]ボタンを押すか、[戻る]を選び[SET]ボタンを押します。

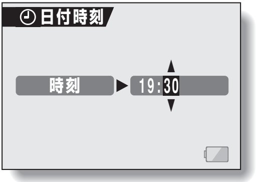


5 日付を設定する



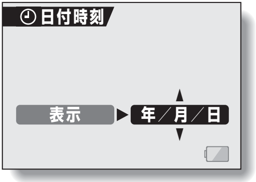
❶[日付]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。
❸日付を「2005年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。
・方向ボタンの[◀]または[▶]を押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
方向ボタンの[▲]または[▼]を押す：数値が増減します。
❹[SET]ボタンを押す

6 時刻を設定する



❶[時刻]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。
❸時刻を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。
❹[SET]ボタンを押す

7 再生時の日付表示順序を設定する



❶[表示]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。
❸方向ボタンの[▲]または[▼]を押す
・[▲]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。
→年/月/日→月/日/年→日/月/年→表示なし
[▼]を押すと、逆に切り替わります。

日付・時刻を設定する（つづき）

・「表示なし」を選ぶと、再生時、撮影日表示が出ません。
❹[SET]ボタンを押す

8 [戻る]を選んで、[SET]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、オプション画面に戻ります。
- 撮 影 画 面 に 戻 る に は、[MENU]ボタンを押してください。

ヒント

- このカメラは電池を交換する時に内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、時刻・日付の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時刻表示を確認されることをおすすめします（操作1～4）。

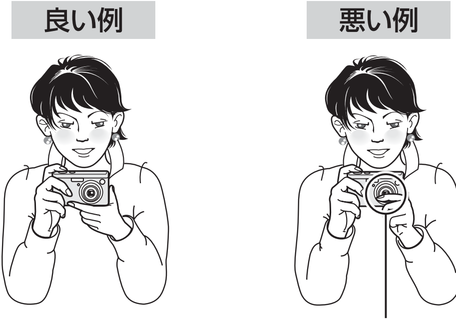
日付・時刻を修正するには

- 操作1～4の後、修正したい行を選びます。修正したい表示を選び、表示を修正してください。

撮影の前に

カメラの構えかた

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。



レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

ヒント

- 静止画像は、再生時に回転することができます[P88]。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

タッチセンサー(タッチフォーカス)について

シャッターボタンに触れるだけでピント合わせ (フォーカスロック) を行います。あとはシャッターボタンを静かに押すだけで、しっかりとピントの合った撮影が可能です。
また、モードセレクト画面 [P29] や撮影設定画面 [P51] が出ている時はタッチセンサーが OFF になるので、使いやすい機能になっています。
さらに、半分ボタンを押してピントを合わせ、続いてシャッターボタンを押し込んで撮影するというシャッターボタン動作に変更することも可能です [P61]。

撮影の前に（つづき）

オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください[P63]。

■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

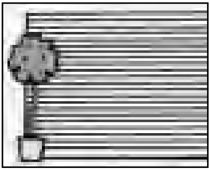
- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



- **縦線のない被写体**

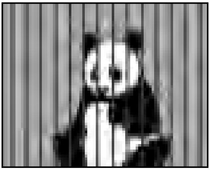
  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。



次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わない時があります。

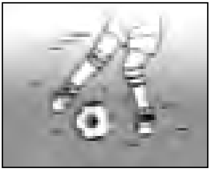
- **遠いものと近いものが共存する被写体**

  撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



- **動きの速い被写体**

  撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



撮影の前に(つづき)

撮影モードの切り替えかた

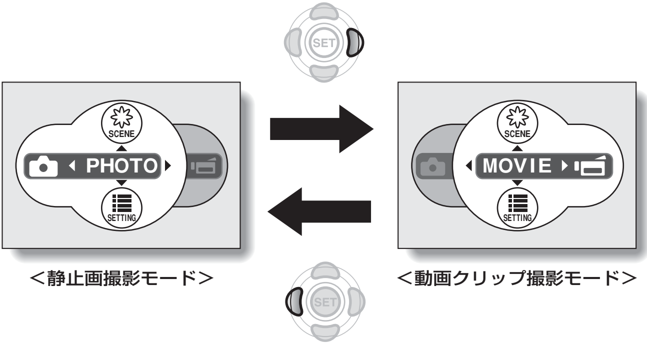
このカメラには静止画を撮影する「静止画撮影モード」と動画クリップを撮影する「動画クリップ撮影モード」があります。撮影をする場合は、モードセレクト画面で撮影モードを切り替えます。

1 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れ、[MENU] ボタンを押す

- モードセレクト画面が出ます。

2 方向ボタンの [◀] または [▶] を押す

- 撮影モードが切り替わります。



＜静止画撮影モード＞　＜動画クリップ撮影モード＞

3 [MENU] ボタンを押す

- 撮影画面になります。

撮影のヒント

操作音を消したい

- シャッターボタンや[MENU]ボタン、[SET]ボタンなどを押した時に鳴る音を消すことができます[P105]。

撮影した画像の保存先は？

- すべて、内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードに保存します。
- カードを装着している場合はカードに、カードを装着していない場合は内蔵メモリーに保存します。

逆光で撮影すると…

- 逆光で撮影した時は、CCDの特性上、光の筋（スミア）やゴースト模様（フレア現象）が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

撮影データの記録中は…

- アクセスランプが速い周期で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。アクセスランプが消えれば撮影できます。ただし、点滅している間でも、カメラ内部メモリーの空き容量の状態により、撮影後約2秒で次の撮影ができる場合があります。

静止画撮影・再生をする

静止画撮影の機能には、1 度シャッターボタンを押すと 1 枚の静止画像が撮影できる 1 枚撮影と 1 度シャッターボタンを押すと連続して静止画像が撮影できる連写撮影があります。連写撮影については、68 ページを参照してください。

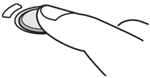
1枚撮影をする

1 [ON/OFF] ボタンを押して、電源を入れる

- 静止画撮影画面が出ます。

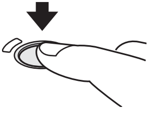
2 シャッターボタンに指を乗せる

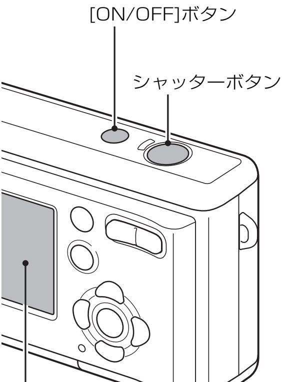
- タッチセンサー[P61]をONに設定している場合は、シャッターボタンに触れた時点でオートフォーカスが働いてピント合わせを行います（フォーカスロック）。



<タッチセンサーがOFFの場合>

- シャッターボタンを半分だけ押すと、オートフォーカスが働いてピント合わせを行います。

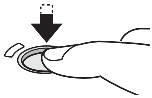






<静止画撮影画面>

3 シャッターボタンを静かに押す



- シャッターボタンは、カメラがぶれないよう静かに押し込んでください。
- シャッターボタンを押している間、撮影した瞬間の画像が液晶モニターに出ます（ポストビュー）。

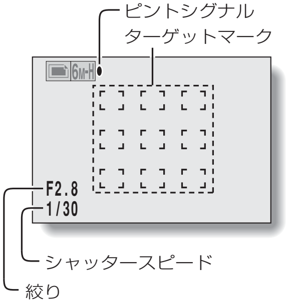
4 シャッターボタンから指を離す

- 撮影した画像を保存します。

ヒント

どこにピントが合ってるの？

- ピントが合った位置には、ターゲットマーク[ ]が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は、大きなターゲットマークが出ます。

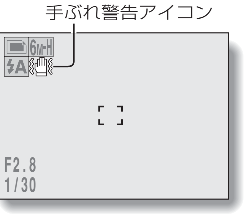


ピントシグナルについて

- ピントが合うと緑色、ピントが合っていない場合は赤色で点灯します。

シャッタースピードと絞り値が出ます

- ピントが合ってターゲットマークが出ると、同時にシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。



手ぶれ警告アイコンが出たら？

- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、液晶モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P41]に設定してください。
- シーンセレクト機能の花火モード 撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

静止画撮影・再生をする(つづき)

静止画像を再生する

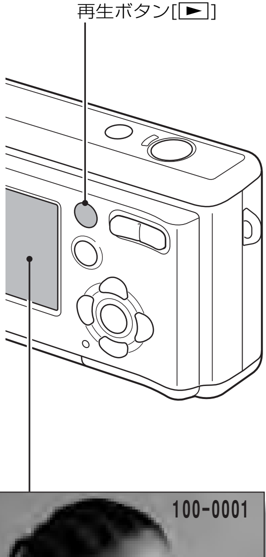
1 枚撮影した画像も連写撮影した画像も、再生方法は同じです。

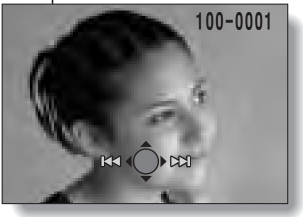
5 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタン[►]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[►]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した静止画が、液晶モニターに出ます。

6 他の画像を出す

- 方向ボタンの[◄]または[►]を押すと、前後に撮影した画像が出ます。
  前の画像を出す：[◄]を押す
  後の画像を出す：[►]を押す
- 再生ボタン[►]を押すと、撮影画面になります。





操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

9画面マルチ再生をする

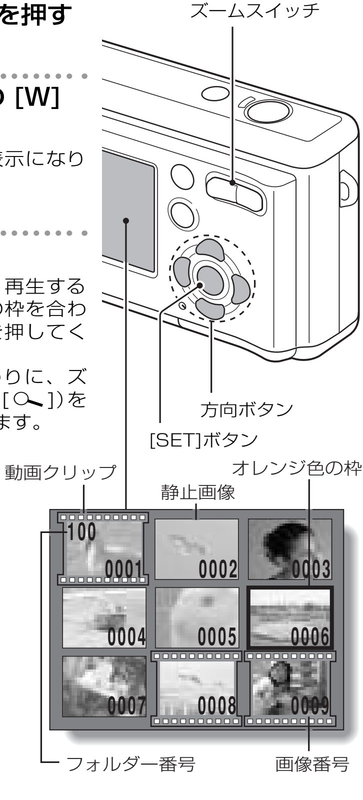
1 **再生ボタン[▶]を押す**

2 **ズームスイッチの [W]([▦])を押す**

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 **再生する**

- 方向ボタンを押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET]ボタンを押してください。
[SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチの[T]([🔍])を押しても、再生できます。



静止画撮影・再生をする（つづき）

拡大（ズーム）表示をする

1 画像を表示する

2 ズームスイッチの[T]（[ ]）を押す



- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示部分が移動できます。
  拡大する：ズームスイッチの[T]（[ ]）を押すごとに倍率が上がります。
  元に戻す：ズームスイッチの[W]（ ）を押すごとに倍率が下がります。
- [SET]ボタンを押すと、通常表示（100%）の画面に戻ります。

ヒント

拡大した画像が保存できます
- 拡大表示している時にシャッターボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

動画クリップ撮影・再生をする

動画クリップ撮影をする

1 **[ON/OFF] ボタンを押して、電源を入れる**

2 **[MENU] ボタンを押す**

- モードセレクト画面が出ます。

3 **方向ボタンの [▶] を押して [MOVIE] を選び、[MENU] ボタンを押す**

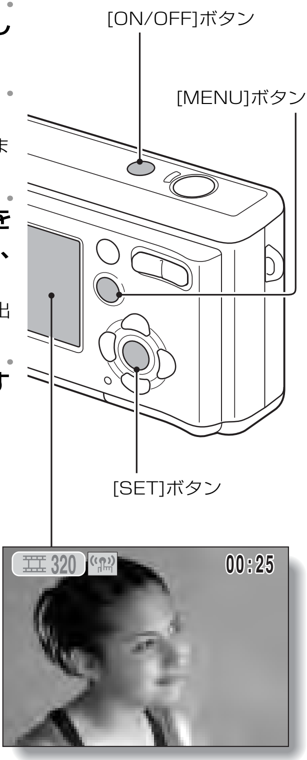
- 動画クリップ撮影画面が出ます。

4 **シャッターボタンを押す**

- 動画クリップ撮影を開始します。撮影中は液晶モニターに撮影時間が出ます。
- 撮影中、シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 **撮影を終了する**

- 動画クリップ撮影中にシャッターボタンを押すと、動画クリップ撮影を終了し、画像を保存します。



注意!

- このカメラは映像のみを撮影し、音声は記録しません。

動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

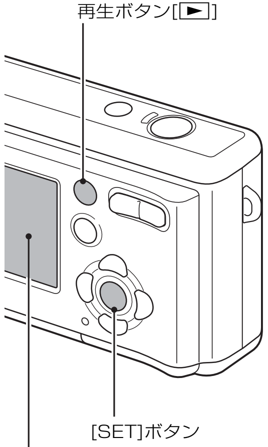
動画クリップ再生をする

6 再生ボタン[▶]を押す

- 再生ボタン[▶]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[▶]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した動画クリップが、液晶モニターに出ます。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

7 [SET]ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- もう一度[SET]ボタンを押すと、再生を中止します。





再生操作一覧

<table>
<tr><th colspan="2">こうするには</th><th>こうします</th></tr>
<tr><td colspan="2">一時停止</td><td>再生中に[SET]ボタンを押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コマ送り再生</td><td>順方向</td><td>一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押す</td></tr>
<tr><td>逆方向</td><td>一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押す</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スロー再生</td><td>順方向</td><td>一時停止中に、方向ボタンの[▶]を押し続ける</td></tr>
<tr><td>逆方向</td><td>一時停止中に、方向ボタンの[◀]を押し続ける</td></tr>
<tr><td rowspan="2">倍速再生</td><td>順方向</td><td>順方向再生中に方向ボタンの[▶]を押す
※方向ボタンの[▶]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。
通常速度→2倍速→5倍速→10倍速
方向ボタンの[◀]を押すと、再生速度が元に戻ります。</td></tr>
<tr><td>逆方向</td><td>順方向再生中に方向ボタンの[◀]を押す
※方向ボタンの[◀]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。
10倍速←5倍速
方向ボタンの[▶]を押すと、再生速度が元に戻ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常再生に戻す</td><td>[SET]ボタンを押す</td></tr>
</table>

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

ヒント

液晶モニターの明るさを変えることができます
- 撮影画面が出ている時に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、液晶モニターの明るさを設定する画面が出ます。

動画クリップの再生位置を表示できます
- 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
- 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。

内蔵メモリーのデータを再生するには
- カードを取りはずしてください。

注意!

音声が出ない?
- 音声は再生できません。

動画クリップは、データ量が多くなります
- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラの液晶モニターでは、正常に再生できます)。

カードの残り容量がカード容量の約10%以下になると…
- メモリー残量アイコンが出ます。
- 撮影可能時間以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

ズーム撮影をする

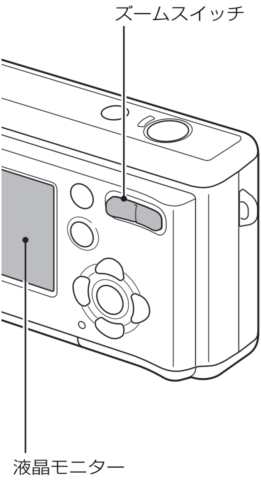
ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。
デジタルズームは、使うか使わないかを設定することができます [P109]。

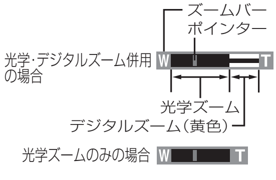
1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。
[W]：広角画面になります。
- ズーム動作に入ると、液晶モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの[T]を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

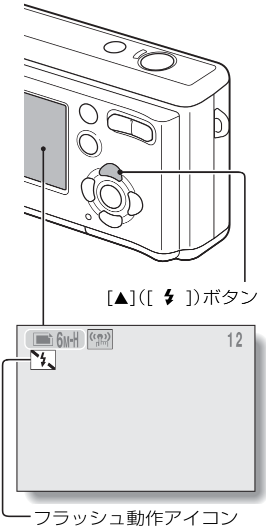




基本操作
ズーム撮影をする

フラッシュを設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュには、4 つの動作(自動発光 / 強制発光 / 発光禁止/赤目軽減)があります。状況に応じて使い分けてください。
フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。



1 静止画撮影画面を出す [P31]

2 方向ボタンの[▲]([⚡])を押す

- フラッシュの設定が切り替わります。
- フラッシュの設定は、液晶モニターに出ます。
- フラッシュの設定は、撮影設定画面[P54]からも行えます。

表示なし：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(自動発光)。

[⚡]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

[⚡̶]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います(発光禁止)。

[⚡◎]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。この時、人物の目が赤く写る現象(赤目現象)を軽減します(赤目軽減)。

3 方向ボタンの[▲]([⚡])を押して、フラッシュ動作を設定する

- 方向ボタンの[▲]([⚡])を押すたびに、フラッシュ動作の設定が変わります。
- 希望するフラッシュ動作のアイコンを出してください。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- 設定したフラッシュ動作で撮影します

ヒント

自動発光の時は

- 自動発光モードの撮影でフラッシュが必要な場合は、ピントが合った時に⚡Aアイコンが液晶モニターに出て、フラッシュの発光をお知らせします。

露出を補正する

明るさを変えて撮影することができます。

1 被写体にレンズを向ける

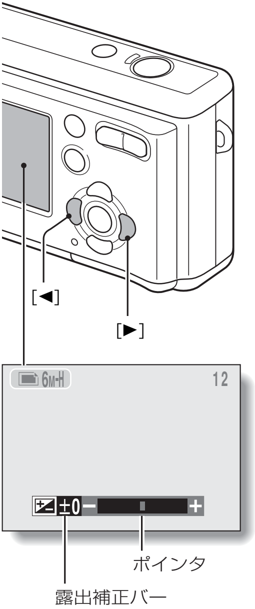
- モードセレクト画面やメニュー画面（撮影設定画面）は、[MENU]ボタンを押して消してください。

2 撮影設定画面が出ていない状態で、方向ボタンの[►]（⊠）を押す

- 露出補正バーが出ます。

3 方向ボタンの [◄] または [►] を押し、露出を補正する

- 露出補正値は、露出補正バーの左側に出ます。
  露出は－1.8EV～＋1.8EVの範囲で補正することができます。
- 露出補正バーは、[MENU]ボタンを押すと消えます。
- 露出補正は、撮影設定画面[P56]からも行えます。



ヒント

以下の操作をすると、露出補正の設定を解除します

- ポインタを中央に戻す
- オプション画面を出す
- 再生ボタン[►]を押す
- 電源を切る

簡単設定画面を出す

簡単設定画面では、撮影シーンに合わせた撮影設定を選ぶだけで、簡単に美しく撮影することができます。

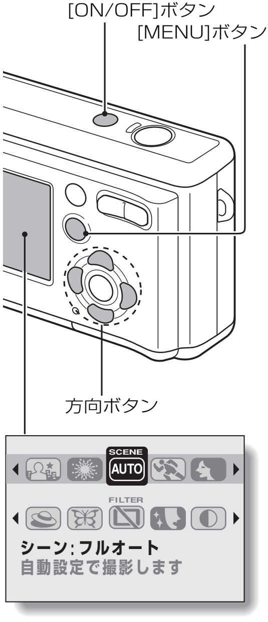
1 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れ、[MENU] ボタンを押す

- モードセレクト画面が出ます。

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して撮影モードを選ぶ

3 方向ボタンの[▲]を押す

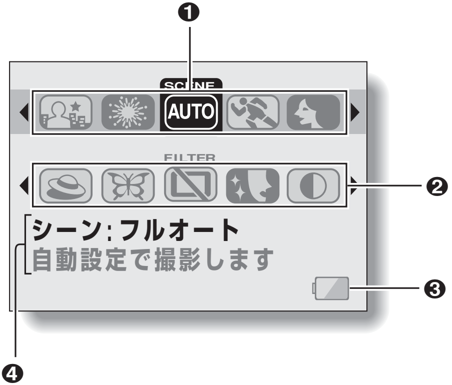
- 簡単設定画面が出ます。
- 方向ボタンの[▲]または[▼]を押すと、シーンセレクトメニューまたはフィルターメニューが選べます。



簡単設定画面を消すには

[MENU] ボタンを押すと、モードセレクト画面に戻ります。さらにもう一度 [MENU] ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

簡単設定画面のご紹介



❶シーンセレクトメニュー[P46]

- AUTO：フルオートで撮影します。
- ：スポーツモードで撮影します。
- ：ポートレートモードで撮影します。
- ：風景モードで撮影します。
- ：夜景モードで撮影します（1 枚撮影時のみ設定可）。
- ：花火モードで撮影します（1 枚撮影時のみ設定可）。

❷フィルターメニュー[P49]

- ：フィルターを使わずに撮影します。
- ：コスメフィルターで撮影します。
- ：モノクロフィルターで撮影します。
- ：セピアフィルターで撮影します。
- ：シャープネスフィルターで撮影します。
- ：コントラストフィルターで撮影します。
- ：彩度フィルターで撮影します。

❸電池残量表示[P121]

❹ヘルプ表示[P107]

シーンセレクト機能を設定する

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 簡単設定画面を出す [P44]

2 シーンセレクトメニューを選ぶ

- AUTO：カメラが最適な状態に設定します(フルオート)。
- ：動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます(スポーツモード)。
- ：背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます(ポートレートモード)。
- ：遠くの風景がきれいに撮影できます(風景モード)。
- ：バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます(夜景モード)。
- ：打ち上げ花火を撮影します(花火モード)。



シーンセレクト機能を設定する（つづき）

3 シーンセレクトメニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- シーンセレクト機能を設定しました。

4 撮影をする

動画クリップ撮影→[P36]
静止画撮影→[P31]

- 通常の撮影に戻す場合は、シーンセレクトメニューの AUTO を選び、[SET]ボタンを押してください。

設定可能シーン

動作モード [P67] によって、設定できるシーンセレクト機能が異なります。

	動作モードの設定		
	1 枚撮影 合成撮影	連写撮影 オートブラケットショット	証明写真撮影
フルオート AUTO	○	○	○
スポーツ	○	○	―
ポートレート	○	○	○
風景	○	○	―
夜景	○	―	―
花火	○	―	―

○：設定できます。　―：設定できません。

注意!

- 花火モードや夜景モードで撮影する場合は、手ぶれを防ぐために三脚などでカメラを固定してください。
- AUTO 以外のシーンセレクト機能を設定した場合の制限事項については、169ページを参照してください。

フィルターを設定する

フィルターは、色調などを変えて、撮影画像に特殊な効果を与える機能です。

1 簡単設定画面を出す [P44]

2 フィルターメニューを選ぶ



- ：フィルターを使わずに撮影します（なし）。
- ：人物を撮影する時に、お肌をきれいに撮影できます（コスメフィルター）。
- ：モノクロ撮影ができます（モノクロフィルター）。
- ：色調をセピアカラーにした撮影ができます（セピアフィルター）。
- ：画像の輪郭を強調します（シャープネスフィルター）。
- ：画像の明暗を強調します（コントラストフィルター）。
- ：画像の彩度を強調します（彩度フィルター）。

3 フィルターメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フィルターを設定しました。

4 撮影をする

動画クリップ撮影→[P36]
静止画撮影→[P31]

- 通常の撮影に戻す場合は、フィルターメニューの を選び、[SET]ボタンを押してください。

ヒント

- 以外のフィルターを設定した場合の制限事項については、169ページを参照してください。

撮影設定画面を出す

撮影設定画面では、フォーカスレンジやセルフタイマーの設定、1 枚撮影、連写撮影、合成、証明写真撮影など動作モードの選択やシャッターボタンのタッチセンサーの ON/OFF の設定などが行えます。

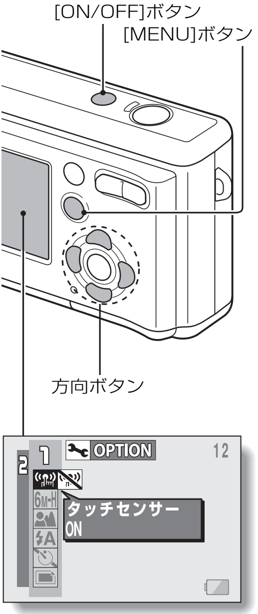
1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れ、[MENU]ボタンを押す

- モードセレクト画面が出ます。

2 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して撮影モードを選ぶ

3 方向ボタンの[▼]を押す

- 撮影設定画面が出ます。



撮影設定画面を消すには

[MENU] ボタンを押すと、モードセレクト画面に戻ります。さらにもう一度 [MENU] ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

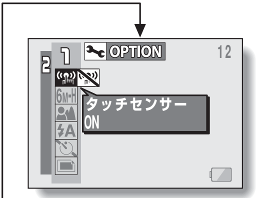
PAGE(ページ)の切り替えかた

撮影設定画面には、**PAGE1** と **PAGE2** があります。

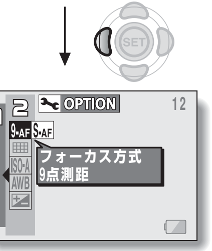
1 撮影設定画面を出す

2 方向ボタンの[◀]を押す

- 撮影設定画面のPAGEが切り替わります。
- 方向ボタンの[◀]を押すたびに、PAGEが切り替わります。



＜撮影設定画面：PAGE1＞



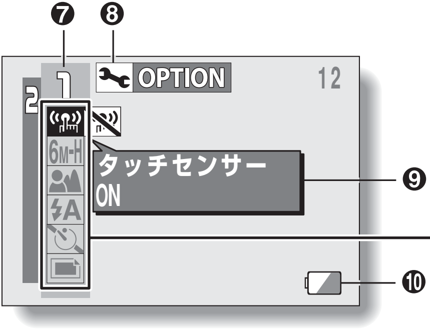
＜撮影設定画面：PAGE2＞

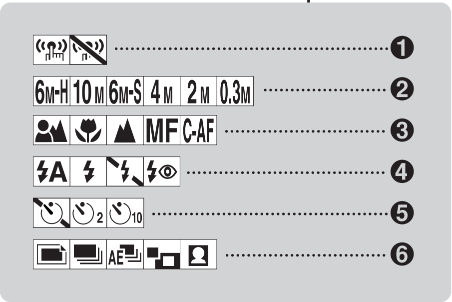


撮影設定画面を出す(つづき)

撮影設定画面(静止画)の紹介

PAGE1





❶タッチセンサーメニュー[P61]

- [タッチセンサーON]：シャッターボタンのタッチセンサーをONに設定します。
- [タッチセンサーOFF]：シャッターボタンのタッチセンサーをOFFに設定します。

❷解像度メニュー[P62]

- 6M-H：2,816×2,112ピクセル低圧縮で撮影します。
- 10M：3,680×2,760ピクセルで撮影します。
- 6M-S：2,816×2,112ピクセル標準圧縮で撮影します。
- 4M：2,288×1,712ピクセルで撮影します。
- 2M：1,600×1,200ピクセルで撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

❸フォーカスメニュー[P63]

- [AF]：オートフォーカスで撮影します。
- [マクロ]：マクロ撮影をします。
- [遠景]：遠景撮影をします。
- MF：マニュアルフォーカスで撮影します。
- C-AF：コンティニュアスAFで撮影します。

❹フラッシュメニュー[P41]

- [自動]：自動発光します。
- [強制発光]：強制発光します。
- [発光禁止]：フラッシュを使いません。
- [赤目軽減]：赤目現象を軽減します。

❺セルフタイマーメニュー[P65]

- [OFF]：セルフタイマーを使いません。
- [2秒]：シャッターボタンを押すと、2秒後にシャッターが切れます。
- [10秒]：シャッターボタンを押すと、10秒後にシャッターが切れます。

❻動作モードメニュー[P67]

- [1枚撮影]：1枚の静止画を撮影します。
- [連写]：連続して静止画を撮影します。
- [AEブラケット]：露出を変えて、静止画を連写撮影します。
- [合成撮影]：合成撮影をします。
- [証明写真]：証明写真を撮影します。

❼PAGE表示[P52]

❽オプションアイコン[P102]

オプション画面を表示します。

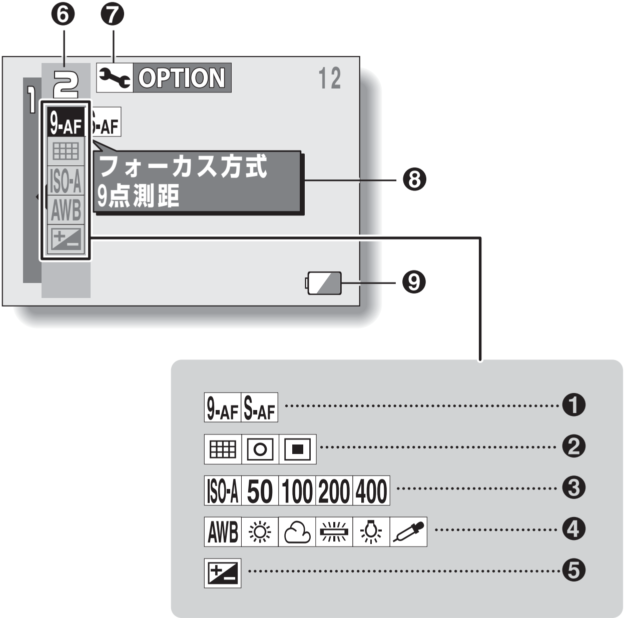
❾ヘルプ表示[P107]

❿電池残量表示[P121]

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

撮影設定画面を出す(つづき)

PAGE2



❶**フォーカス方式メニュー[P72]**

9-AF：9点測距で撮影します。

S-AF：スポットフォーカスで撮影します。

❷**測光方式メニュー[P73]**

[多分割]：多分割測光で撮影します。

[中央重点]：中央重点測光で撮影します。

[スポット]：スポット測光で撮影します。

❸**ISO感度メニュー[P74]**

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50～200相当)。

50：ISO感度50相当で撮影します。

100：ISO感度100相当で撮影します。

200：ISO感度200相当で撮影します。

400：ISO感度400相当で撮影します。

❹**ホワイトバランスメニュー[P75]**

AWB：カメラが自動的に判断し、撮影します。

[晴天]：晴天時の設定です。

[曇天]：曇天時の設定です。

[蛍光灯]：蛍光灯照明時の設定です。

[白熱灯]：白熱灯照明時の設定です。

[ワンタッチ]：より正確にホワイトバランスを設定します。

❺**露出補正アイコン[P43]**

明るさを変えて撮影します。

❻**PAGE表示[P52]**

❼**オプションアイコン[P102]**

オプション画面を表示します。

❽**ヘルプ表示[P107]**

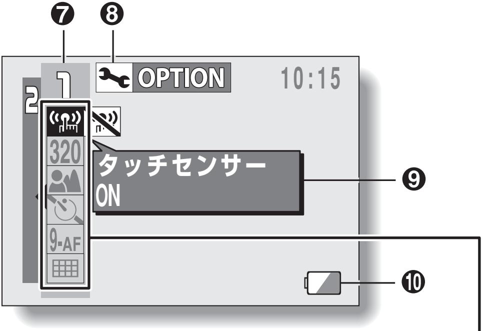
❾**電池残量表示[P121]**

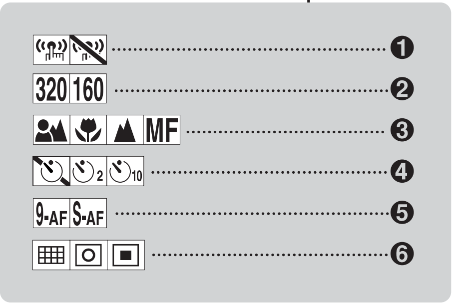
※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

撮影設定画面を出す(つづき)

撮影設定画面(動画クリップ)の紹介

PAGE1





❶**タッチセンサーメニュー[P61]**

[ON]：シャッターボタンのタッチセンサーをONに設定します。
[OFF]：シャッターボタンのタッチセンサーをOFFに設定します。

❷**動作モードメニュー[P62]**

320：320 × 240 ピクセル（15 フレーム / 秒、標準圧縮）で撮影します。
160：160 × 120 ピクセル（15 フレーム / 秒、標準圧縮）で撮影します。

❸**フォーカスメニュー[P63]**

：オートフォーカスで撮影します。
：マクロ撮影をします。
：遠景撮影をします。
MF：マニュアルフォーカスで撮影します。

❹**セルフタイマーメニュー[P65]**

：セルフタイマーを使いません。
：シャッターボタンを押すと、2秒後にシャッターが切れます。
：シャッターボタンを押すと、10秒後にシャッターが切れます。

❺**フォーカス方式メニュー[P72]**

9-AF：9点測距で撮影します。
S-AF：スポットフォーカスで撮影します。

❻**測光方式メニュー[P73]**

：多分割測光で撮影します。
：中央重点測光で撮影します。
：スポット測光で撮影します。

❼**PAGE表示[P52]**

❽**オプションアイコン[P102]**

オプション画面を表示します。

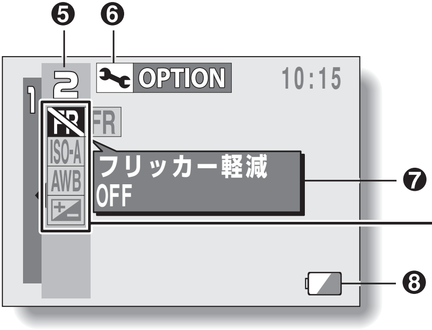
❾**ヘルプ表示[P107]**

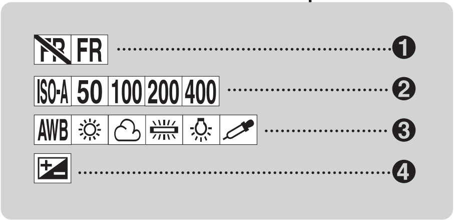
❿**電池残量表示[P121]**

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

撮影設定画面を出す(つづき)

PAGE2





❶フリッカー軽減メニュー[P77]

FR(斜線)：フリッカー軽減機能をOFFに設定します。

FR：フリッカー軽減機能をONに設定します。

❷ISO感度メニュー[P74]

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO100〜400相当)。

50：ISO感度100相当で撮影します。

100：ISO感度200相当で撮影します。

200：ISO感度400相当で撮影します。

400：ISO感度800相当で撮影します。

❸ホワイトバランスメニュー[P75]

AWB：カメラが自動的に判断し、撮影します。

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯：蛍光灯照明時の設定です。

電球：白熱灯照明時の設定です。

スポイト：より正確にホワイトバランスを設定します。

❹露出補正アイコン[P43]

明るさを変えて撮影します。

❺PAGE表示[P52]

❻オプションアイコン[P102]

オプション画面を表示します。

❼ヘルプ表示[P107]

❽電池残量表示[P121]

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

タッチセンサー(タッチフォーカス)を設定する

シャッターボタンに触れるだけでオートフォーカスが働くタッチセンサー機能を ON/OFF できます。タッチセンサー機能を OFF にした場合は、シャッターボタンを半分押すとオートフォーカスが働き、そのまま静かに押すとシャッターが切れます。

1 撮影設定画面を出す [P51]

2 タッチセンサーメニューを選ぶ



- センサーメニューが出ます。

［ON アイコン］：タッチセンサー機能をONにします。

［OFF アイコン］：タッチセンサー機能をOFFにします。

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- タッチセンサー機能を設定しました。

注意!

- 三脚にカメラを取り付けていると、タッチセンサーの感度が鈍くなる場合があります。これはカメラに素手で触れることによる、静電容量の変化をタッチセンサー機能に利用しているために起こる現象です。手袋をはめた場合でも、同じような現象になることがあります。
- インバータ方式の蛍光灯に近い場所では、タッチセンサーの感度が鈍くなることがあります。

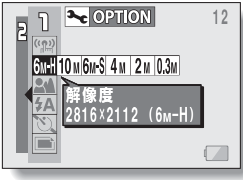
解像度を設定する

解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影設定画面を出す [P51]

2 静止画撮影モードの場合は解像度メニュー、動画クリップ撮影モードの場合は動画モードメニューを選ぶ

- 解像度メニューまたは動画モードメニューが出ます。



<例：静止画撮影モード>

<静止画撮影モード>

6M-H：2,816×2,112ピクセル低圧縮で撮影します。

10M：3,680×2,760ピクセルで撮影します。

6M-S：2,816×2,112ピクセル標準圧縮で撮影します。

4M：2,288×1,712ピクセルで撮影します。

2M：1,600×1,200ピクセルで撮影します。

0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

<動画クリップ撮影モード>

320：320×240ピクセル(15フレーム/秒、標準圧縮)で撮影します。

160：160×120ピクセル(15フレーム/秒、標準圧縮)で撮影します。

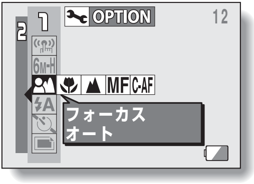
3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 解像度/動画モードを設定しました。

フォーカスレンジを設定する

1 撮影設定画面を出す [P51]

2 フォーカスメニューを選ぶ



- フォーカスメニューが出ます。

：10cm（Wide端）または40cm（Tele端）～∞mの範囲で、自動的にピントを合わせます（オートフォーカス）。

：5cm（Wide端）または40cm（Tele端）～70cmの範囲で、ピントを合わせることができます（マクロ）。

：遠景でピントを合わせることができます（遠景）。

MF：焦点距離を5cmから8mの間で任意に設定でき、∞に設定することもできます（マニュアルフォーカス）。

C-AF：常時被写体にピントを合わせます（コンティニュアスAF：静止画撮影モードのみ）。

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フォーカスレンジの設定ができました。

ヒント

- マクロ［　］に設定するとズームをWide端にします。
- 撮影画面で方向ボタンの[▼]を押しても、フォーカスレンジを設定することができます。

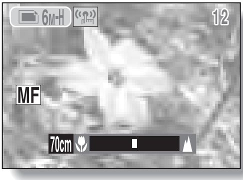
マニュアルフォーカスの使いかた

1 撮影設定画面を出す [P51]

2 フォーカスメニューからマニュアルフォーカスアイコン MF を選び、[SET] ボタンを押す

3 [SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。



4 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して焦点距離を設定し、[SET]ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。ピント合わせの確認は、液晶モニターに映る画像でお確かめください。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を30cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を30cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

セルフタイマーを設定する

1 撮影設定画面を出す [P51]

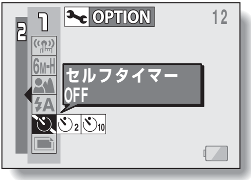
2 セルフタイマーメニューを選ぶ

- セルフタイマーメニューが出ます。

：セルフタイマーを使いません。

：シャッターを押した2秒後にシャッターを切ります。

：シャッターを押した10秒後にシャッターを切ります。



3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- セルフタイマーを設定しました。

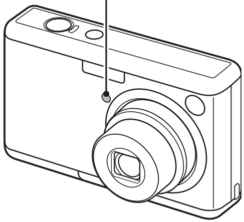
ヒント

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度シャッターボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーを使わない設定[セルフタイマーオフ]にしてください。
- セルフタイマー撮影が終わると、セルフタイマーを使わない設定[セルフタイマーオフ]になります。

[10秒]アイコンを選んだ場合は

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーランプが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。
- 撮影を開始する約3秒前になると、セルフタイマーランプの点滅が速くなります。

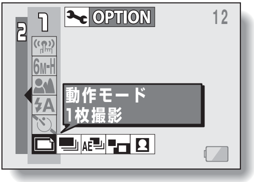


シャッター動作を設定する

シャッターボタンを押した時のカメラの動作を設定します。

1 静止画撮影モードにし、撮影設定画面を出す [P51]

2 動作モードメニューを選ぶ



- ：シャッターボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します（1枚撮影）。
- ：シャッターボタンを押すと、連続して静止画を撮影します（連写撮影）。
- ：露出を変えて、静止画を連写撮影します（ブラケット連写撮影）。
- ：背景と前景を撮影し、1枚の静止画にすることができます（合成写真撮影）。
- ：証明写真を撮影します（証明写真撮影）。

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- シャッター動作を設定しました。

注意!

フラッシュが使えない？

- 連写撮影とブラケット連写撮影では、フラッシュは使えません。

連写撮影のしかた

シャッターボタンを押すと、連続して静止画が撮影できます。

1 動作モードメニューから連写アイコン [連写] を選び、[SET] ボタンを押す

- 解像度 10M に設定している場合は、自動的に 6M-H に設定を変更します。

2 シャッターボタンを押して、撮影する

- 連続撮影を開始します。

<最大連写撮影枚数>

6M-H 6M-S　：5枚
4M 2M 0.3M：7枚

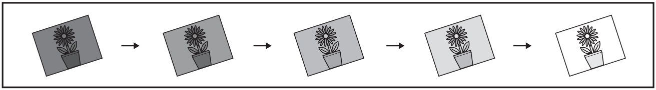


- 連写中にシャッターボタンを離すと、途中で撮影を終了します。

シャッター動作を設定する(つづき)

オートブラケットショット(ブラケット連写)のしかた

露出を変えて、静止画を連写撮影します(ブラケット連写撮影)。



1 動作モードメニューからブラケット連写アイコン [AE] を選び、[SET] ボタンを押す

- 解像度を 10M に設定している場合は、自動的に 6M-H に変更します。

2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを押すと、撮影を開始します。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 7枚(解像度が 6M-H 6M-S の場合は5枚)を連写すると、自動的に撮影が終わります。

合成写真撮影のしかた

2 枚の静止画を別々に撮影し、1 枚の静止画にすることができます。

1 動作モードメニューから合成アイコン [合成] を選び、[SET] ボタンを押す

- 解像度 10M に設定している場合は、自動的に 6M-H に設定を変更します。

2 [SET] ボタンを押す

- 合成パターンが出ます。



3 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、目的の合成パターンを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ合成パターンが、画面一杯に出ます。



4 外側を撮影する

- 被写体にレンズを向け、合成パターンの外側を撮影します。



5 内側を撮影する

- 続いて、合成パターンの内側を撮影します。

シャッター動作を設定する(つづき)

証明写真撮影のしかた

各種届出および証明書用の静止画を撮影することができます。

1 動作モードメニューから証明写真アイコン [証明写真] を選び、[SET] ボタンを押す

2 [MENU] ボタンを 2 回押す

- 撮影フレームが出ます。



3 撮影フレームに人物が入るようにアングルを調整し、撮影する

- 撮影画像のプレビュー表示が出た後、撮影設定画面に戻ります。
- 再生画面には、２種類のサイズの画像が、各３枚出ます。



再生画面

注意!

連写撮影・合成撮影・証明写真撮影の制限事項

- 連写撮影では、解像度を[10M]に設定できません。また、フラッシュは使えません。
- 合成撮影では、解像度を[10M]に設定できません。また、フォーカスをマクロ[マクロ]に設定したり、セルフタイマーを使った撮影はできません。
- 証明写真撮影では、解像度を[10M]に設定できません。また、フォーカスをマクロ[マクロ]や風景[風景]設定することはできません。

フォーカスエリアを設定する

静止画撮影時のオートフォーカス（ピント合わせ）の方式は、以下の 2 種類から選べます。
9 点測距フォーカス：液晶モニターから見える撮影範囲の 9 箇所のフォーカスポイントでピントを合わせます。ピントが合ったところには、ターゲットマーク ⁝⁝ が出ます。
スポットフォーカス：液晶モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。

1 撮影設定画面を出す [P51]

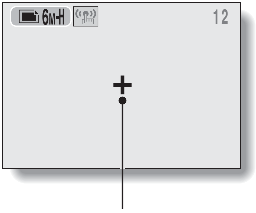
2 フォーカス方式メニューを選ぶ

- フォーカス方式メニューが出ます。

9-AF：9点測距フォーカスになります。

S-AF：スポットフォーカスになります。

- スポットフォーカスに設定した場合は、液晶モニター中央にフォーカスマーク＋が出ます。



フォーカスマーク

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フォーカスエリアを設定しました。

測光方式を設定する

カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。

多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して調光します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を調光します。
スポット測光：液晶モニターの中央部分の光量だけを重点的に調光してから構図を決め、撮影することができます。

1 撮影設定画面を出す [P51]

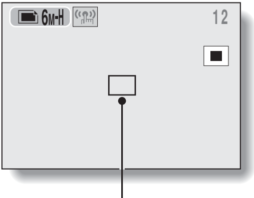
2 測光方式メニューを選ぶ

- 測光方式メニューが出ます。

▦：多分割測光になります。
◎：中央重点測光になります。
▣：スポット測光になります。

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 測光方式の設定ができました。
- スポット測光に設定した場合は、液晶モニター中央に測光スポットマーク□が出ます。



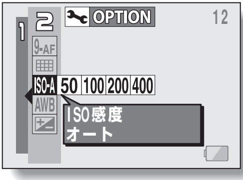
スポットマーク

ISO感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 撮影設定画面を出す [P51]

2 ISO感度メニューを選ぶ



- ISO感度メニューが出ます。

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50～200(動画撮影時：ISO100～400)相当)。

50：感度をISO50（動画撮影時：ISO100）相当に設定します。

100：感度をISO100（動画撮影時：ISO200）相当に設定します。

200：感度をISO200（動画撮影時：ISO400）相当に設定します。

400：感度をISO400（動画撮影時：ISO800）相当に設定します。

3 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- ISO感度を設定しました。

ヒント

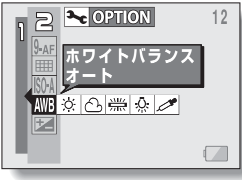
- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増える場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影設定画面を出す [P51]

2 ホワイトバランスメニューを選ぶ



- ホワイトバランスメニューが出ます。

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

：晴天時の設定です。

：曇天時の設定です。

：蛍光灯による照明時の設定です。

：白熱灯による照明時の設定です。

：より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

[設定のしかた]

❶ アイコンを選び、[SET]ボタンを押す

・ アイコンが左に移動します。

❷白色の紙を画面いっぱいに表示して、[SET]ボタンを押す

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスの設定ができました。
- アイコンで設定したホワイトバランスは、他の設定（AWB、、、、）にしても、記憶しています。他の設定に変更した場合は、アイコンを選んで[SET]ボタンを押すと、設定したアイコンのホワイトバランスに戻すことができます。

ヒント

ホワイトバランスの設定を解除するには

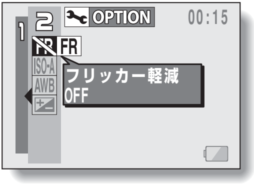
- 操作1を行い、AWBアイコンを選んで[SET]ボタンを押します。

フリッカー軽減を設定する

フリッカーとは、蛍光灯の下で動画クリップ撮影をした時に発生する画面のちらつきのことで、このカメラはこの現象を抑えるフリッカー軽減機能を搭載しています。この機能は、電源周波数が 50Hz の地域のフリッカーに対して効果があります。

1 動画クリップ撮影モードにし、撮影設定画面を出す[P51]

2 フリッカー軽減メニューを選ぶ



- フリッカー軽減メニューが出ます。

FR（斜線付き）：フリッカー軽減機能が働きません。

FR：フリッカー軽減機能が働きます。

3 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フリッカー軽減を設定しました。

ヒント

- フリッカー軽減機能は、蛍光灯の下で撮影した時に発生する画面のちらつきを抑えますが、画質は少し劣化する場合があります。
- よく晴れた屋外でフリッカー軽減機能を使うと、露出オーバーを起こす場合があります。
- フリッカー軽減の設定を FR にすると、ISO感度の設定は ISO-A になります。

再生設定画面を出す

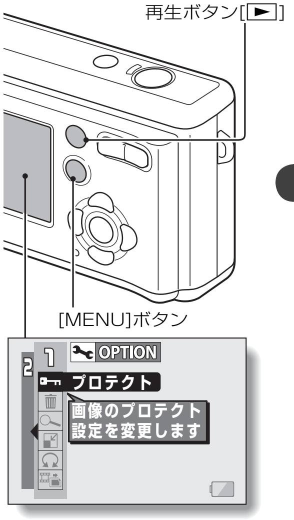
再生の設定は、再生設定画面で行います 。

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面になります。

2 [MENU] ボタンを押す

- 再生設定画面が出ます。



再生設定画面を消すには

[MENU] ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

再生設定画面を出す(つづき)

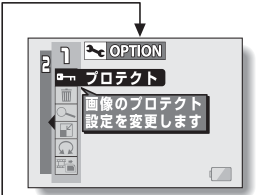
PAGE(ページ)の切り替えかた

再生設定画面にも **PAGE1** と **PAGE2** があります。

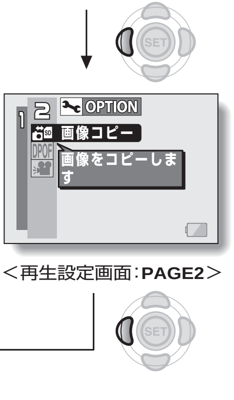
1 再生設定画面を出す

2 方向ボタンの[◀]を押す

- 再生設定画面のPAGEが切り替わります。
- 方向ボタンの[◀]を押すたびに、PAGEが切り替わります。



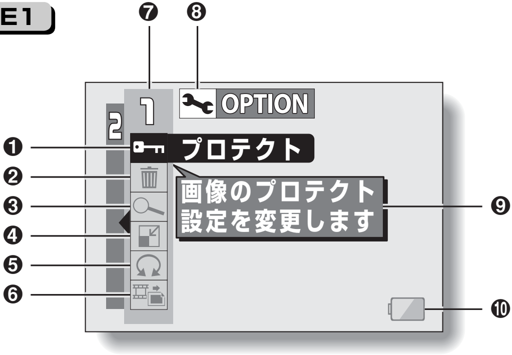
<再生設定画面:**PAGE1**>



<再生設定画面:**PAGE2**>

再生設定画面の紹介

PAGE1



❶プロテクトアイコン[P82]
- データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

❷消去アイコン[P84]
- データを消去します。

❸ズームジャンプアイコン[P86]
- 画像を部分的に拡大し、撮影状態を確認します。

❹リサイズアイコン[P87]
- 静止画の解像度を下げます。

❺画像回転アイコン[P88]
- 静止画を回転表示します。

❻静止画抜き出しアイコン[P89]
- 動画クリップから静止画を抜き出します。

❼PAGE表示[P79]

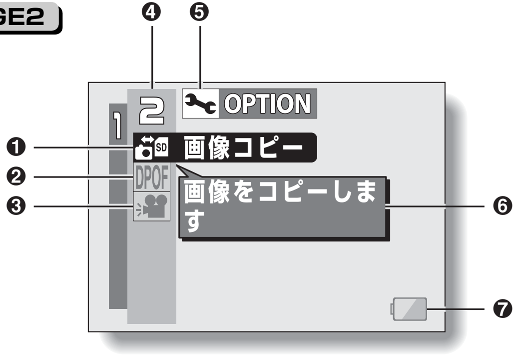
❽オプションアイコン[P102]
- オプション画面を表示します。

❾ヘルプ表示[P107]

❿電池残量表示[P121]

再生設定画面を出す（つづき）

PAGE2



❶画像コピーアイコン[P90]

❷プリント設定アイコン[P92]
- 印刷の設定を行います。

❸スライドショーアイコン[P99]
- スライドショー再生をします。

❹ PAGE表示[P79]

❺オプションアイコン[P102]
- オプション画面を表示します。

❻ヘルプ表示[P107]

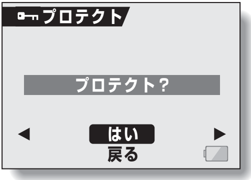
❼電池残量表示[P121]

プロテクト(消去禁止)を設定する

データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

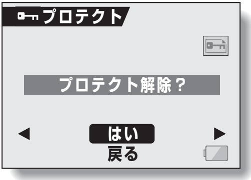
1 プロテクトを設定するデータを表示し、再生設定画面(PAGE1)を出す [P78]

2 プロテクトアイコン を選び、[SET] ボタンを押す



- [プロテクト？]表示が出ます。
- プロテクトがかかっている画像の場合は、[プロテクト解除？]表示が出ます。

3 方向ボタンの[▲]または[▼]を押して[はい]を選び、[SET] ボタンを押す



- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマークが付きます。
- 再生設定画面に戻る場合は、[MENU]ボタンを押します。

プロテクト(消去禁止)を設定する(つづき)

注意!

● プロテクトをかけたデータでも、カードを初期化すると消えます[P117]。

ヒント

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには

● 方向ボタンの[◀]または[▶]を押します。

プロテクトを解除するには

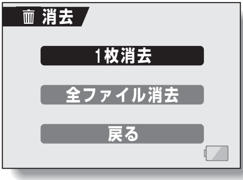
● プロテクトを解除するデータを表示し、操作1～3を行ってください。プロテクトマークが消え、プロテクトを解除します。

データを消去する

データの消去方法には、選んだデータを1つずつ消去する方法と、すべてのデータを一括して消去する方法があります。

1 カードのデータを消去する場合はカードを装着し、内蔵メモリーのデータを消去する場合はカードを取り出す

2 再生設定画面(PAGE1)を出す [P78]



3 消去アイコン[🗑]を選び、[SET]ボタンを押す

- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[1枚消去]：表示しているデータを消去します。
[全ファイル消去]：
すべてのデータを消去します。
[戻る]：再生設定画面に戻ります。

4 消去方法を選び、[SET]ボタンを押す

- データ消去を確認するメッセージが出ます。

＜[1枚消去]を選んだ場合＞
- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、消去するデータを選んでください。

＜[全ファイル消去]を選んだ場合＞
- 方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、すべてのデータを消去しても良いか確認してください。

データを消去する（つづき）

5 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

<[1枚消去]を選んだ場合>

- 表示中の画像を消去します。
- 続けてデータを消去する場合は、データを選んで[SET]ボタンを押してください。

<[全ファイル消去]を選んだ場合>

- 再度、消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

注意!

プロテクトがかかっている画像は？

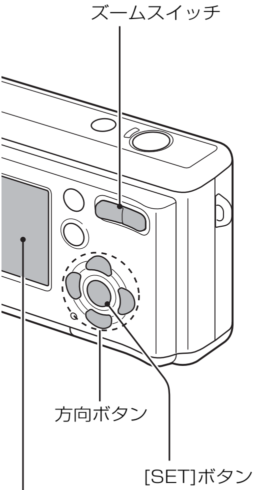
- プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P82]。

ヒント

- 再生画面で方向ボタンの[▲]を押しても、1枚消去の確認画面を出すことができます。

ズームジャンプ再生をする

静止画の部分を指定して拡大表示し、ピントが合っているかを確認することができます。



1 ズームジャンプ再生する静止画を表示する

2 [SET] ボタンを押す

- 画像を拡大表示します。
- この状態でピンボケになっていなければ、およそのピントは合っています。

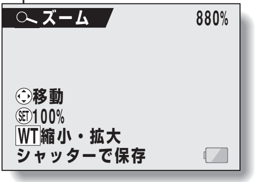
3 方向ボタンを押して拡大する部分を表示して、ズームスイッチの[T]([ ])を押す

- 表示していた部分をさらに大きく表示します。

拡大する：ズームスイッチの[T]([ ])を押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチの[W]([ ])を押すごとに倍率が下がります。

- [SET]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。



ヒント

- ズームジャンプ再生は、再生設定画面からも行えます。

画像のサイズを変える(リサイズ)

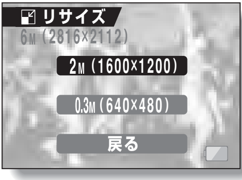
解像度が [2M] 以上の静止画像のサイズを 1600 × 1200 ピクセルまたは 640 × 480 ピクセルに変えて、新しく静止画像を作ることができます。

1 サイズを変える静止画像を表示する

2 再生設定画面(PAGE1)を出す [P78]

3 リサイズアイコン [リサイズ] を選び、[SET] ボタンを押す

- リサイズ画面が出ます。



4 変更後の画像サイズを選ぶ

[2M (1600×1200)]：1600×1200ピクセルにします。

[0.3M (640×480)]：640×480ピクセルにします。

[戻る]：再生設定画面に戻ります。

5 [SET] ボタンを押す

- サイズ変更を開始します。

ヒント

リサイズできない？

- 変更後の画像サイズより小さい画像をリサイズすることはできません。

画像を回転表示する

静止画を回転して見ることができます。

1 回転する画像を表示し、再生設定画面（PAGE1）を出す [P78]



2 画像回転アイコン を選び、[SET]ボタンを押す

● 画像回転画面が出ます。

[右回転]：右方向に90°回転します（時計回り）。

[左回転]：左方向に90°回転します（反時計回り）。

[戻る]：再生設定画面に戻ります。

3 [右回転] または [左回転] を選び、[SET]ボタンを押す

● [SET]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

ヒント

● 9画面マルチ再生では、回転した表示になりません。

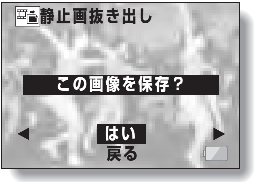
動画クリップから静止画像を抜き出す

動画クリップ撮影した画像の 1 コマを、1 枚の静止画として保存することができます（元の画像はそのまま残ります）。

1 動画クリップを再生し、静止画にする 1 コマを表示する

2 再生設定画面(PAGE1）を出す [P78]

3 静止画抜き出しアイコン を選び、[SET] ボタンを押す



- 静止画抜き出し画面が出ます。

[はい]：表示中の画像を静止画として保存します。

[戻る]：再生設定画面に戻ります。

4 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- 静止画抜き出しを実行します。

ヒント

操作 3 で他の画像（コマ）を選ぶには

- 方向ボタンの[◄]または[►]を押します。

データをコピーする

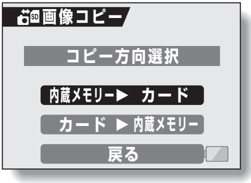
撮影した画像をカメラの内蔵メモリーからカードへ、カードから内蔵メモリーへとコピーすることができます。

1 カメラにカードをセットする [P18]

2 再生設定画面(**PAGE2**)を出す [P78]

3 画像コピーアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- 画像コピー画面が出ます。



4 方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、コピー方向を選ぶ

[内蔵メモリー▶カード]：
内蔵メモリーの画像データをカードへコピーします。
[カード▶内蔵メモリー]：
カードの画像データを内蔵メモリーへコピーします。
※カードを装着していないと、コピーすることができません。

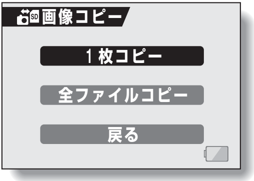
データをコピーする（つづき）

5 [SET] ボタンを押す

- コピーのしかたを選ぶ画面が出ます。
- 画面の背景には、コピー元の画像が出ます。

[1枚コピー]：データを1つずつコピーします。

[全ファイルコピー]：コピー元のデータをすべてコピー先へコピーします。



6 コピーのしかたを選ぶ

＜[1枚コピー] を選ぶ場合＞

①方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、コピーするデータを表示する

②方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、[1枚コピー]を選ぶ

＜[全ファイルコピー]を選ぶ場合＞

①方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、[全ファイルコピー]を選ぶ

7 [SET] ボタンを押す

- コピーの確認画面が出ます。
- コピーを実行する場合は[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。
- [戻る]を選んで[SET]ボタンを押すか、[MENU] ボタンを押すと、操作5の画面に戻ります。

プリントを設定する

静止画は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無の指定、さらにインデックスプリントを指定することもできます。

プリント設定画面を出す

1 再生設定画面(PAGE2)を出す [P78]

[P78]

2 プリント設定アイコン DPOF を選び、[SET] ボタンを押す

- プリント設定画面が出ます。

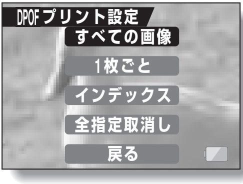
[すべての画像]：
カード内のすべての画像にプリントの設定を行います。

[1枚ごと]：
画像1枚ごとにプリントの設定を行います。

[インデックス]：
すべての静止画像を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。

[全指定取消し]：
プリント指定の内容をすべて取り消します。プリントを指定していない場合は選べません。

[戻る]：
再生設定画面に戻ります。



プリントを設定する(つづき)

ヒント

動画クリップの1コマは

- 動画クリップの画像をプリンタで印刷したりプリントサービスに出す場合は、静止画として画像を抜き出してから[P89]プリントの設定をしてください。

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P141]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

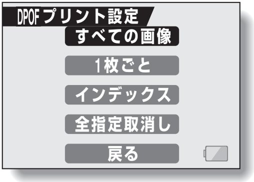
- 画像回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

日付・プリント枚数を設定する

1 画像ごとに個別に設定する方法(1 枚ごと)と、カード内の画像すべてに同じ設定をする方法(すべての画像)があります。

1 プリント設定画面を出す [P92]

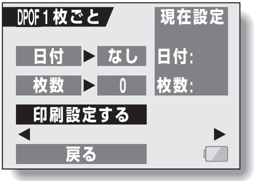
2 [すべての画像]または[1枚ごと]を選ぶ



[すべての画像]：
カード内のすべての静止画に、同じプリント設定をします。

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント設定をします。

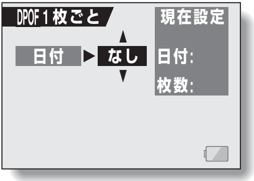
3 [SET]ボタンを押す



- 日付・プリント枚数設定画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は方向ボタンの[◀]または[▶]を押して、プリント設定をする画像を表示してください。
- [現在設定]には、表示中の画像のプリント設定が出ます。方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、各画像のプリント設定が確認できます。

プリントを設定する(つづき)

4 日付プリントまたはプリント枚数を設定する



〈日付プリントを設定する〉

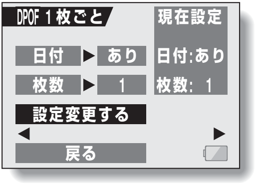
❶方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、[日付]を選ぶ。
❷[SET]ボタンを押す。
・日付プリント設定画面が出ます。
❸方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、日付プリントを設定する。
[あり]：日付プリントします。
[なし]：日付プリントしません。
❹[SET]ボタンを押す。
・日付･プリント枚数設定画面に戻ります。



〈プリント枚数を設定する〉

❶方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、[枚数]を選ぶ。
❷[SET]ボタンを押す。
・プリント枚数設定画面が出ます。
❸方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]または[▼]を押してください。
❹[SET]ボタンを押す
・日付･プリント枚数設定画面に戻ります。

5 [印刷設定する]を選び、[SET]ボタンを押す



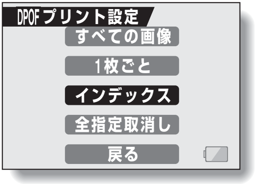
- プリントの設定確認画面が出ます。
  設定内容が正しい場合：
  [戻る]を選んで[SET]ボタンを押す
  設定を変更した場合：
  [設定変更する]を選んで[SET]ボタンを押す

インデックスプリントをする

一覧表示用として、小さな画像をたくさんプリントすることを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

1 プリント設定画面を出す [P92]

2 [インデックス]を選ぶ



プリントを設定する(つづき)

3 [SET]ボタンを押す

- インデックスプリント画面が出ます。

  [はい]：インデックスプリント設定をします。

  [戻る]：設定を中止して、プリント設定画面に戻ります。



4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- インデックスプリントの設定をし、プリント設定画面に戻ります。

プリント設定を変更する

1 94・95ページの操作 1 ～ 4 を行う

2 [設定変更する]を選び、[SET]ボタンを押す

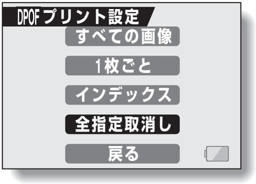


すべての画像のプリント設定を取り消す

画像のプリント設定をすべて取り消します。

1 プリント設定画面を出す [P92]

2 [全指定取消し] を選ぶ



3 [SET] ボタンを押す

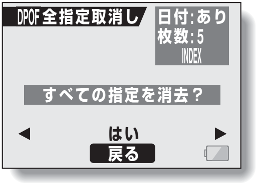
● 全指定取消し確認画面が出ます。

[はい]：すべての画像のプリント設定を取り消します。

[戻る]：プリント設定の取り消しを中止して、プリント設定画面に戻ります。

4 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

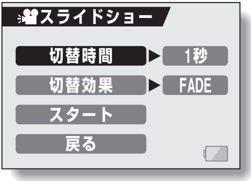
● すべての画像のプリント設定を取り消して、プリント設定画面に戻ります。



スライドショー再生をする

1 再生設定画面(PAGE2)を出す [P78]

2 スライドショーアイコン を選び、[SET] ボタンを押す



- スライドショー画面が出ます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[スタート]：スライドショー再生を開始します。

[戻る]：再生設定画面に戻ります。

<切替時間または切替効果の設定を変更する場合>

❶[切替時間]または[切替効果]表示を選び、[SET]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]または[▼]を押し、設定を選ぶ
❸[SET]ボタンを押す

3 [スタート] を選び、[SET] ボタンを押す

- スライドショー再生を開始します。
- 再生中に[SET]ボタンまたは[MENU]ボタンを押すと、スライドショー再生を中止します。

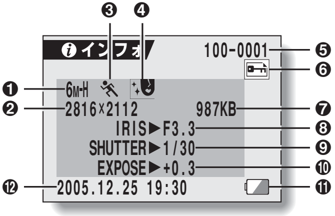
画像情報を表示する(インフォ画面)

撮影画像の情報を表示(インフォ画面)することができます。

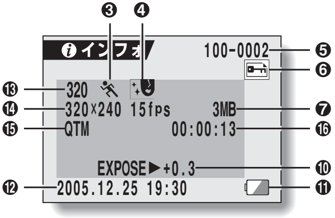
1 情報を表示したい画像を出す [P33・37]

2 [MENU] ボタンを約 2 秒以上押す

- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。



<静止画像の場合>



<動画クリップの場合>

❶解像度の設定
❷解像度
❸シーンセレクト機能の設定
❹フィルター機能の設定
❺画像番号
❻プロテクトの設定
❼ファイルサイズ
❽絞り値
❾シャッタースピード
❿露出補正の設定
⓫電池残量表示
⓬撮影年月日
⓭動画モードの設定
⓮解像度とフレームレート
⓯ファイル形式
⓰再生時間

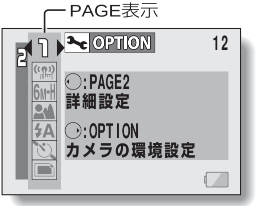
オプション画面を出す

カメラの設定は、オプション画面で行います。

1 撮影設定画面または再生設定画面を出す

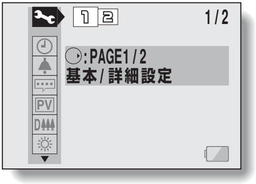
- 撮影設定画面→[P51]
- 再生設定画面→[P78]

2 方向ボタンの[▲]または[▼]を押してPAGE表示を選ぶ



3 方向ボタンの[►]を押す

- オプション画面が出ます。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、オプション画面のメニューが出ます。

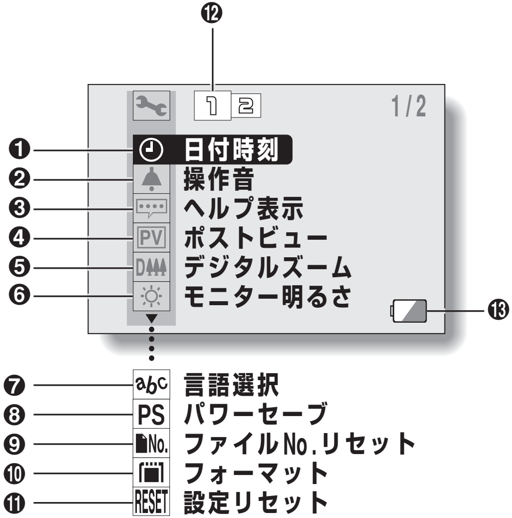


オプション画面を消すには

撮影画面または再生画面に戻る→[MENU]ボタンを押す
撮影設定画面または再生設定画面に戻る→PAGE表示を選んで方向ボタンの[►]を押す

オプション画面を出す（つづき）

オプション画面の紹介



❶日付時刻アイコン[P23]

- カメラの内蔵時計を設定します。

❷操作音アイコン[P105]

- カメラのボタンを押した時に鳴る音を設定します。

❸ヘルプ表示アイコン[P107]

- ヘルプ表示のON/OFFを設定します。

❹ポストビューアイコン[P108]

- 静止画を撮影した後、撮影した画像が液晶モニターに出ている時間を設定します。

❺デジタルズームアイコン[P109]

- デジタルズームのON/OFFを設定します。

❻モニター明るさアイコン[P110]

- 液晶モニターの明るさを設定します。

❼言語選択アイコン[P111]

- 液晶モニターに表示する言語を設定します。

❽パワーセーブアイコン[P112]

- パワーセーブ状態になるまでの時間を設定します。

❾ファイルNo.リセットアイコン[P114]

- ファイルNo.リセット機能のON/OFFを設定します。

❿フォーマットアイコン[P117]

- カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードをフォーマットします。

⓫設定リセットアイコン[P119]

- カメラの設定を工場出荷時の状態にします。

⓬PAGE表示[P52・79・102]

⓭電池残量表示[P121]

※❼～⓫のアイコンは、方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます

操作音を設定する

カメラのボタン(シャッターボタン、[SET] ボタンや [MENU] ボタンなど)を押した時に鳴る操作音(確認音)の ON/OFF を設定します。

1 オプション画面を出す [P102]

2 操作音アイコン を選び、[SET]ボタンを押す



- 操作音画面が出ます。
- 操作音画面には、現在の操作音の設定が出ます。
- [すべてOFF]を選んで[SET]ボタンを押すと、すべての操作音が鳴りません。
- [戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、オプション画面に戻ります。

[シャッター]：
シャッターボタンを押した時に鳴る音です。

[キー操作]：
カメラのボタン([SET]ボタン、[MENU]ボタンなど)を押した時に鳴る音です。

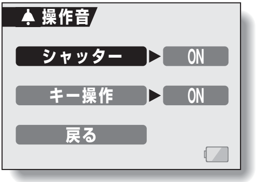
3 [設定変更]を選び、[SET]ボタンを押す

● 設定するボタンを選ぶ画面が出ます。

[シャッター]：
シャッターボタンの操作音を設定します。

[キー操作]：
[ON/OFF]ボタンとシャッターボタン以外の操作音を設定します。

[戻る]：
操作音画面に戻ります。



4 設定するボタンを選び、[SET]ボタンを押す

● 操作音を設定する画面が出ます。

5 方向ボタンの [▲] または [▼] を押して、設定を選ぶ

[ON]：音が鳴ります。

[**OFF**]：音が鳴りません。

6 [SET] ボタンを押す

7 [戻る] を選び、[SET] ボタンを押す

● 操作音を設定しました。

ヘルプ表示を設定する

液晶モニターに出るヘルプ表示の ON/OFF を設定します。

1 オプション画面を出す [P102]

2 ヘルプ表示アイコン[アイコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- ヘルプ表示画面が出ます。

  [ON]：ヘルプ表示を出します。

  [OFF]：ヘルプ表示を出しません。



3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ヘルプ表示を設定しました。

ポストビューを設定する

シャッターボタンを押した後、撮影した画像が液晶モニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 オプション画面を出す [P102]

2 ポストビューアイコン PV を 選 び、[SET] ボタンを押す



- ポストビュー画面が出ます。

  [1秒]：ポストビューを1秒間出します。

  [2秒]：ポストビューを2秒間出します。

  [OFF]：ポストビューを出しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ポストビューを設定しました。

デジタルズームを設定する

デジタルズームの ON/OFF を設定します。
デジタルズームによる画像の荒れが気になる場合は、デジタルズームを OFF にして、光学ズームのみで撮影することができます。

1 オプション画面を出す [P102]

2 デジタルズームアイコン を選び、[SET] ボタンを押す



- デジタルズーム画面が出ます。

  [ON]：デジタルズームを使います。
  [OFF]：デジタルズームを使いません。

3 目的の項目を選び、[SET] ボタンを押す

- デジタルズームを設定しました。

ヒント

デジタルズームをONに設定したのにデジタルズームが使えない？
- 以下の設定時、デジタルズームは使えません。
  解像度を 10M に設定している

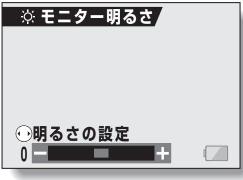
液晶モニターの明るさを設定する

カメラの液晶モニターの明るさを設定します。周囲の明るさによって、液晶モニターの表示が見づらい場合は、液晶モニターの明るさを設定してください。

1 オプション画面を出す [P102]

2 モニター明るさアイコン[☼]を選び、[SET]ボタンを押す

- モニターの明るさ画面が出ます。



3 方向ボタンの [◄] または [►] を押して、明るさを設定し、[SET]ボタンを押す

- 液晶モニターの明るさを設定しました。

ヒント

- 撮影画面で[MENU]ボタンを約1秒以上押し続けると、操作**2**の画面が出て液晶モニターの明るさを設定することができます。

表示言語を設定する

カメラの液晶モニターの表示は、8 種類の言語から選択できます。

1 オプション画面を出す
[P102]

2 言語選択アイコン abc を選び、[SET] ボタンを押す



● 言語選択画面が出ます。

[日本語]：日本語にします。
[DEUTSCH]：ドイツ語にします。
[ENGLISH]：英語にします。
[ESPAÑOL]：スペイン語にします。
[FRANCAIS]：フランス語にします。
[ITALIANO]：イタリア語にします。
[NEDERLANDS]：オランダ語にします。
[PУCCKИЙ]：ロシア語にします。

3 言語を選び、[SET] ボタンを押す

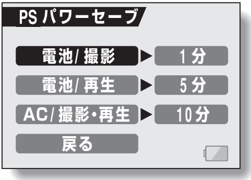
● 表示言語を設定しました。

パワーセーブ機能を設定する

このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に省電力状態になるパワーセーブ機能があります。
パワーセーブ状態になるまでの時間（待機時間）を設定することができます。

1 オプション画面を出す [P102]

2 パワーセーブアイコン PS を選び、[SET]ボタンを押す



- パワーセーブ画面が出ます。

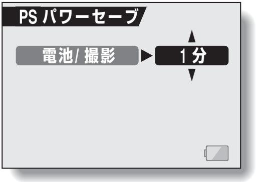
[電池/撮影]：電池を使った撮影モードでの待機時間を設定します。

[電池/再生]：電池を使った再生モードでの待機時間を設定します。

[AC/撮影・再生]：AC電源使用時の撮影/再生モードでの待機時間を設定します。

[戻る]：オプション画面に戻ります。

パワーセーブ機能を設定する（つづき）



＜例：[電池/撮影]を
選んだ場合＞

3 設定する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 待機時間の設定画面が出ます。

4 方向ボタンの[▲]または[▼] 押し、待機時間を設定する

5 [SET] ボタンを押す

- パワーセーブ機能を設定しました。

ファイルNo.リセット機能を設定する

初期化 [P117] したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. リセット機能が入 [ON] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. リセット機能を切 [OFF] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.リセット機能　入[ON]〉

	ファイル名（画像番号）
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換 ▼

カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.リセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名（画像番号）
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換 ▼

カードB	00014、00015……0025、0026

ファイルNO.リセット機能を設定する（つづき）

- 交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた： 撮影中のファイル名を継続した番号になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0001、 0002、0014, 0015……0025、0026

カードBに残っていた画像

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた： 最後のファイル名からの連番になります。

カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0020、0021、0022、0023……0025、0026

カードBに残っていた画像

ヒント

内蔵メモリーの場合は？

- ファイルNo.リセット機能は、内蔵メモリーに対しても同様に働きます。

1 オプション画面を出す [P102]

2 ファイル No. リセットアイコン [No.] を選ぶ



3 [SET] ボタンを押す

- ファイルNo.リセット画面が出ます。

  [ON]：ファイルNo.リセット機能をONにします。

  [OFF]：ファイルNo.リセット機能をOFFにします。

4 [OFF] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルNo.リセット機能をOFFに設定しました。

ヒント

- ファイルNo.リセット機能は、ONにするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、ONに戻すことをおすすめします。

カード・内蔵メモリーを初期化する

・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカード
は、必ずこのカメラで初期化(フォーマット)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 カードを初期化する場合はカードを装着し、内蔵メモリーを初期化する場合はカードを取りはずす

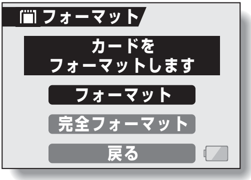
2 オプション画面を出す [P102]

3 フォーマットアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

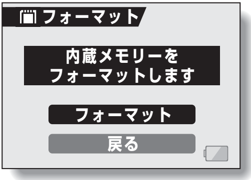
- 初期化の方法を選ぶ画面が出ます。
- 普段の使用で、完全フォーマットをする必要はありません。しかし、通常のフォーマットをしてもカードに関するエラーが出る場合は、完全フォーマットを行ってください。

[フォーマット]：
通常の初期化を行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います(カードを装着していなかったり、電池残量が少ない場合は、選択できません)。



<カード装着時>



<カード未装着時>

4 フォーマットの方法を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットの確認画面が出ます。

5 [はい] を選ぶ

6 [SET] ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、カメラの電源を切ったり、カードを入れたり取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- 初期化すると、記録したデータは、すべて消えます。プロテクトしたデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄／譲渡するときのご注意(初期化をしてもデータが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるデータの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、データはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、本機で完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、本機で完全フォーマットを実行するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することことをおすすめします。カード内のデータは、お客さまの責任において管理してください。

ヒント

初期化を中止するには

- 操作5で[いいえ]を選び、[SET]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

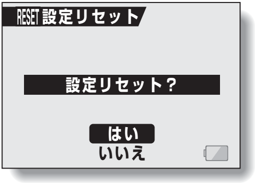
1 オプション画面を出す [P102]

2 設定リセットアイコン RESET を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定リセット画面が出ます。

  [はい]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

  [いいえ]：カメラの設定を変えず、オプション画面に戻ります。



3 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

ヒント

- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
  日付時刻の設定
  言語選択の設定

内蔵メモリーやカードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間の表示で確認することができます。内蔵メモリーや 1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 [P175]」を参照してください。

1 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れ、[MENU] ボタンを押す

- モードセレクト画面が出ます。

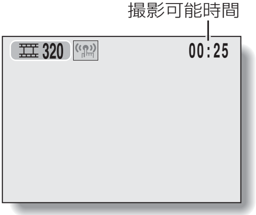
<静止画の撮影可能枚数をチェックする場合>
[PHOTO]を選んで[MENU]ボタンを押す

<動画クリップの撮影可能時間をチェックする場合>
[MOVIE]を選んで[MENU]ボタンを押す

- 液晶モニターに撮影可能時間または撮影可能枚数が出ます。
- 撮影可能枚数や時間表示は、解像度の設定に応じて変わります。



<静止画撮影画面>



<動画クリップ撮影画面>

ヒント

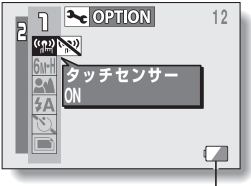
- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P84]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、解像度の設定を変えると[P62]撮影が可能になる場合があります。

電池残量をチェックする

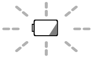
電池を使用している場合は、液晶モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 174 ページを参照してください。

1 撮影または再生設定画面を出す [P51・78]

- 液晶モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には  表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。



電池残量表示

電池残量表示	電池の残量
	ほぼいっぱいの容量があります。
	容量が少なくなりました。
	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
	撮影時、シャッターボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を交換してください。

ヒント

- 撮影画像がある場合は、再生設定画面やインフォ画面でも電池残量が確認できます。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、液晶モニターの入/切)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が速くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

パソコンに接続する

カメラで記録したデータの形式やカード内のディレクトリ構造は、以下のとおりです。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows 98、98SE 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows 3.1、95 を Windows 98 にアップグレードした環境での動作は、保証しません。

Macintosh

USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

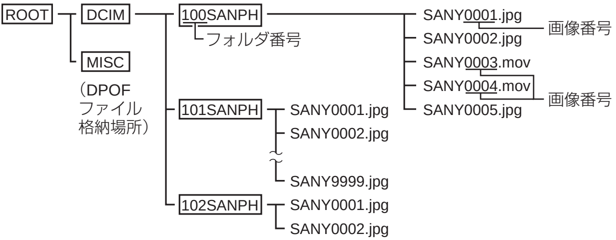
記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY＊＊＊＊.jpg
動画クリップデータ	QuickTime Movie	SANYで始まる。拡張子は「.mov」。 SANY＊＊＊＊.mov*

*記録した順に続き番号が入る

カードのディレクトリ構造



※100SANPHフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影すると、新たに101SANPHフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANPH、103SANPH･･･となります。

ヒント

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。
- 付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)にはWindows版のQuickTime 6.5を添付しています。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.リセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P114]。

注意!

カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えない

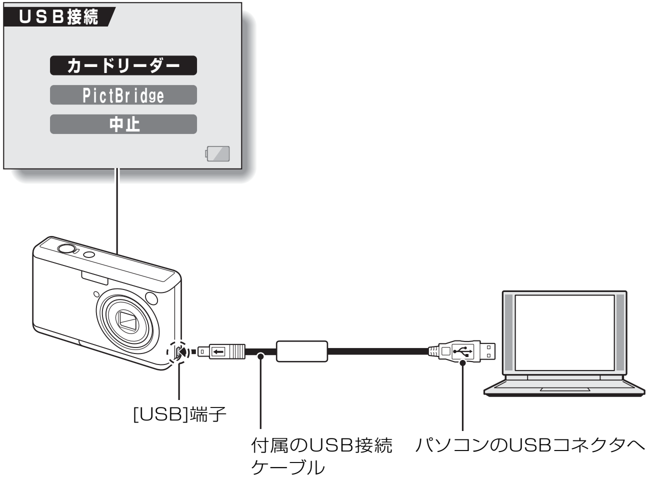
- カメラで撮影した画像データは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

パソコンに接続する（つづき）

カードリーダーモードにする

1 パソコンを起動し、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラの液晶モニターにUSB接続画面が出ます。



2 [カードリーダー] を選び、[SET] ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

パソコンに接続する(つづき)

Windows XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P125]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [XACTI S6(E:)]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows MeおよびWindows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P125]

- パソコンのモニターにWindowsのCD-ROMの装着を促すメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

パソコンに接続する（つづき）

Windows 98/98SE

カメラの接続

Windows 98 および Windows 98SE をお使いの場合は、USB ドライバ(SANYO Digital Camera Mass Storage Driver と SANYO Digital Camera Controller)をインストールしてください。インストールプログラムは、まず SANYO Digital Camera Mass Storage Driver を、続いて SANYO Digital Camera Controller をインストールします。

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROM ドライブにセットする

2 カードリーダーモードにする[P125]

- [新しいハードウェアの追加ウィザード]ダイアログボックスが開きます。
- [新しいハードウェアの追加ウィザード]が開かない場合は、[コントロールパネル]の[ハードウェアの追加]を起動し、操作**3**に進んでください。

3 [次へ]ボタンをクリックする



4 USBドライバの検索方法と検索場所を指定する

❶[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] にチェックマークを付け、[次へ] ボタンをクリックする



クリック

❷[検索場所の指定]にチェックマークを付け、[参照]ボタンをクリックする

・[フォルダの参照]ダイアログボックスが開きます。



クリック

5 USBドライバがあるフォルダを指定する

- USBドライバは、CD-ROMの[Usb]フォルダの[Win98]フォルダにあります。

❶[Sanyo Disc(D:)]をダブルクリックする

・CD-ROMのドライブ名(D:)は、ご使用のパソコンによって異なります。

❷[Usb]をダブルクリックする

❸[Win98]をダブルクリックする

6 [OK]ボタンをクリックする

- [フォルダの参照]ダイアログボックスが閉じて、[検索場所の指定]フィールドに[D:¥USB¥Win98]と表示します(1文字目(D)は、ご使用のパソコンによって異なります)。

Windows 98/98SE(つづき)

7 [次へ]ボタンをクリックする



8 インストールの終了を示すダイアログボックスが開いたら、[完了]ボタンをクリックする

- SANYO Digital Camera Mass Storage Driverのインストールが完了しました。しばらくすると、再び[新しいハードウェアの追加ウィザード]ダイアログボックスが開きます。続いて、SANYO Digital Camera Controllerをインストールしてください。

9 SANYO Digital Camera Controllerをインストールする

- SANYO Digital Camera Controllerは、SANYO Digital Camera Mass Storage Driverと同じ操作でインストールしてください。
- SANYO Digital Camera Controllerのインストールが終わったら、USBドライバーのインストールは完了です。

10 カメラをマウントできるか確認する

- USBドライバが正常にインストールできている場合、[マイコンピュータ]に、カメラが[リムーバブルディスク]として現れます(ドライブ名(E:)は、ご使用のパソコンによって異なります)。

![ヒント]

ヒント

[リムーバブルディスク]が見つからない時は

- USBデバイスドライバを正しくインストールできていません。以下の手順で、USBデバイスドライバをいったん削除した後、インストールしなおしてください。



1. [マイコンピュータ]を右クリックし、表示するメニューから[プロパティ]を選択する
   - [システムのプロパティ]ダイアログボックスが開きます。
2. [デバイスマネージャ]タブをクリックする
3. [SANYO Digital Camera]をクリックし、[削除]ボタンをクリックする
   - [SANYO Digital Camera]がない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じ、以下の手順4に進んでください。
4. CD-ROMをドライブに装着し、インストールしなおす

Windows 98/98SE(つづき)

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [マイコンピュータ]のカメラを示すアイコン([リムーバブルディスク(E:)])を右クリックする

- メニューが出ます。

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンによって異なります。

2 メニューから[取り出し]を選ぶ

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P125]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[名称未設定]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

マウント／アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

ダイレクト印刷をする

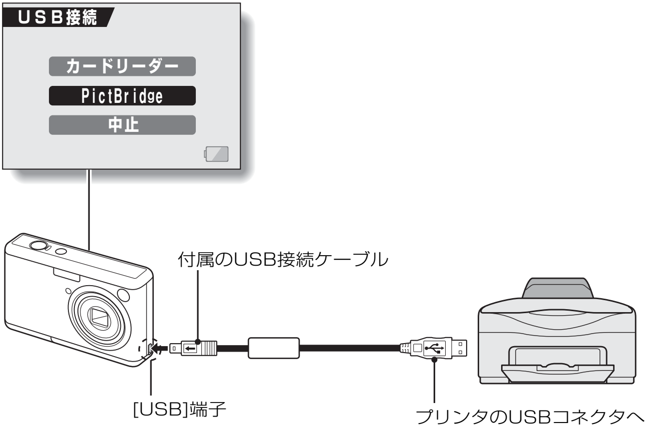
このカメラはPictBridgeに対応しており、PictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラの液晶モニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。

印刷の準備

1 印刷する画像データが入ったカードをカメラに装着する

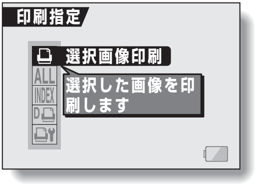
2 プリンタの電源を入れ、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをプリンタに接続する

- カメラの[USB]端子とプリンタのUSBコネクタを接続します。
- カメラの液晶モニターにUSB接続画面が出ます。



3 [PictBridge]を選んで、[SET]ボタンを押す

- 印刷指定画面が出ます。



注意!

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ダイレクト印刷をする(つづき)

1枚の画像を選んで印刷する(選択画像印刷)

静止画を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P135]

2 選択画像印刷アイコン[印刷アイコン]を選び、[SET]ボタンを押す



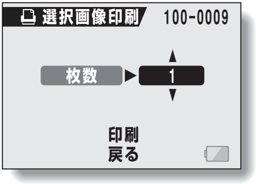
- 印刷画像の選択画面が出ます。

3 方向ボタンの[◀]または[▶]を押す

- 印刷する画像を表示してください。

4 印刷枚数を設定する

❶[枚数]を選び、[SET]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]または[▼]を押して、印刷枚数を設定する
❸[SET]ボタンを押す
- [印刷]を選んだ状態になります。



5 [SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

ヒント

印刷を中止するには

❶印刷中に方向ボタンの[▼]を押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、[SET]ボタンを押す
・[戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、印刷を続行します。

ダイレクト印刷をする(つづき)

すべての画像を印刷する(全画像印刷)

すべての静止画像を印刷します。

1 印刷の準備をする[P135]

2 全画像印刷アイコン[ALL]を選び、[SET]ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。



3 [印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画像が1000枚以上ある場合は印刷できません

- 不要な画像を消去してから印刷してください。

一覧印刷をする(インデックス印刷)

すべての静止画像を小さく一覧印刷します。

1 印刷の準備をする[P135]

2 インデックス印刷アイコン INDEX を選び、[SET] ボタンを押す

- インデックス印刷画面が出ます。



3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

ダイレクト印刷をする(つづき)

プリント設定をした画像を印刷する(予約画像印刷)

プリントの設定をした静止画像を印刷します。

1 プリントの設定 [P92]をし、印刷の準備をする[P135]

2 予約画像印刷アイコン[D🖶]を選び、[SET]ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。



3 [印刷]を選び、[SET]ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [SET]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

ヒント

- 操作2で、方向ボタンの[◀]または[▶]を押すと、印刷する画像とDPOFの設定を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷[D🖶]はできません。

印刷設定を変えて印刷する(プリンタ設定変更)

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P135]

2 プリンタ設定変更アイコンを選び、[SET] ボタンを押す



- プリンタ設定変更画面が出ます。

  [紙種]：
  印刷用紙の紙質を設定します。

  [用紙サイズ]：
  印刷用紙のサイズを設定します。

  [レイアウト]：
  印刷用紙への画像の配置を設定します。

  [印刷品質]：
  印刷画像の美しさを設定します。

  [日付印刷]：
  撮影年月日を印刷します。

  [戻る]：
  印刷指定画面に戻ります。

3 プリンタの設定をする

❶方向ボタンの[▲]または[▼]を押して設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

・設定を選ぶ画面が出ます。

❷方向ボタンの[▲]または[▼]を押して設定を選び、[SET]ボタンを押す

・選んだ項目を設定し、プリンタ設定変更画面に戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[プリンタ設定]を選んだ場合>

・プリンタで設定している条件で印刷します。

4 [戻る]を選び、[SET]ボタンを押す

● 印刷指定画面に戻ります。

ヒント

- プリンタ設定変更画面の設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
- プリンタ設定変更画面に出ないプリンタ機能を使う場合は、[プリンタ設定]に設定してください。
- プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になります。

SANYO Software Packについて

SANYO Software Packには、以下のソフトウェアが入っています。

●ドライバソフトウェア

・USBドライバ
Windows 98/Windows 98SEで、USBインタフェースを使用する場合に必要です。

●アプリケーションソフトウェア

各ソフトウェアの概要は、147ページをご覧ください。

・Quick Time 6.5：以降「QuickTime」と表記します。

・Photo Explorer8.5 SE Basic(Windows)/
Photo Explorer for Mac 2.0(Macintosh)：以降「フォトエクスプローラ」と表記します。

・MotionDirector SE 1.1(Windows)：以降「MotionDirector」と表記します。

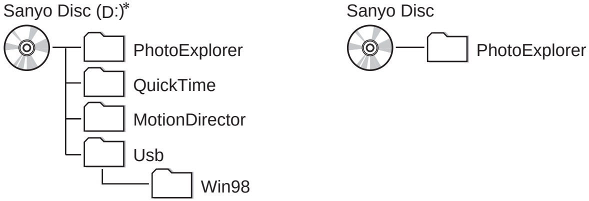
※フォトエクスプローラをインストールすると、動画クリップファイルを再生することができます。

SANYO Software Packについて(つづき)

CD-ROMのディレクトリ構造

SANYO Software Packのディレクトリ構造の概略は、以下のとおりです。

＜Windowsの場合＞　　＜Macintoshの場合＞



*：ドライブ名(D:)は、お使いのパソコンによって異なります。

より楽しんでいただくために(電子マニュアルについて)

弊社ホームページでは、暮らしの中でこのカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しています。ホームページへは、SANYO Software Pack のトップ画面(インストール画面)からアクセスすることができます。ぜひご覧いただき、このカメラを存分にお楽しみください。

動作環境

Windows

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
QuickTime	Pentium以上	128MB以上	11MB以上	Windows 98*/Me/2000/XP
フォトエクスプローラ	Pentium III 800MHz以上	256MB以上（512MBを推奨）	80MB以上（プログラムインストール用）	Windows 98SE/Me/2000/XP
MotionDirector	Pentium III 1GHz 以上	256MB以上（512MBを推奨）	100MB以上	Windows 98SE/Me/2000/XP

*：Windows 98SEを含む

Macintosh

ソフトウェア	CPU	メモリー	ハードディスク	OS
フォトエクスプローラ	Power PC 以降	64MB以上	20MB以上	Mac OS 9.0 以降（CarbonLib 1.4以上）Mac OS X 10.1 以降

注意！

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合

- カメラに装着したカード内のデータを直接読み書きすることはできません。データはいったんハードディスクに保存してください。

アプリケーションソフトウェアのインストール

SANYO Software Packには、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●QuickTime＊

動画クリップを再生します。
このカメラで撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください(Windowsの場合)。

●フォトエクスプローラ

カメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●MotionDirector

動画クリップ撮影時の手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した静止画から、1枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。

＊：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、アップルコンピューター･インクのホームページ（http://www.apple.com/jp/quicktime/)で行えます。

Windows

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[Sanyo Disc(D:)]をダブルクリックし、[Sanyo Disc(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

  ※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。



2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- [e－写真の世界へ]をクリックするとインターネットに接続し、このカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しているホームページを表示します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

QuickTimeについて：http://www.apple.com/jp/quicktime/
フォトエクスプローラについて：http://www.ulead.co.jp/

3 [終了]をクリックする

Kodak オンラインサービスについて

- インストールが閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。このホームページを見る場合は[今すぐおすすめ情報を見る]、見ない場合は[あとでおすすめ情報を見る] オプションボタンをONにして、[OK] ボタンをクリックしてください。
- また、インストールプログラムが終了すると、デスクトップにKodak おすすめネットへのショートカットアイコンができます。

Macintosh

フォトエクスプローラのインストール

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[Sanyo Disc]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

- [Photo Explorer]フォルダの[Japanese]フォルダにある[Ulead Photo Explorer]フォルダをハードディスクにコピーします。
- コピーが終わったら、インストールは完了です。

ヒント

[Carbon Lib]フォルダについて

- お使いのパソコンのCarbonLibファイル(機能拡張ファイル)のバージョンが1.4未満の場合は、[Carbon Lib]フォルダにあるCarbonLibファイルを機能拡張フォルダにインストールしてください。

フォトエクスプローラの使いかた

カメラのデータをパソコンにコピーするには、マイコンピュータからカメラのドライブを開いて目的のデータをパソコンにコピーする方法と、フォトエクスプローラを使ってコピーする方法があります。ここでは、フォトエクスプローラでカメラのデータをパソコンにコピーする方法を説明します。フォトエクスプローラについての詳しい説明は、フォトエクスプローラのヘルプを参照してください。

環境を設定する

データのコピー元(カメラ内のデータの場所)を設定します。

Windows の場合

1 カメラをカードリーダーモードにする [P125]

- 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスが出ます。
- カメラに装着したカードの内容を示すウィンドウ(リムーバブルディスク(E：))が開いた場合は、クローズボックスをクリックして閉じてください。



2 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスの「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスを ON にし、[OK] ボタンをクリックする

- 「ファイルのコピー先・・・」ダイアログボックスが出ます。
- 「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスをONにすると、次回から「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスは開きません。



3 「Ulead Photo Explorer を開く」オプションボタンを ON にして [OK] ボタンをクリックする

4 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。



環境を設定する（つづき）

Windows の場合（つづき）

5 「カメラドライブとカードリーダー」の右にあるドライブ名(A：¥)をクリックする

- 「イメージソースを選択」ダイアログボックスが開きます。

6 「カメラのメモリーカードまたはディスクから直接読み取る」オプションボタを ON にし、「場所」リストボックスのカメラのドライブを選んで、[OK] ボタンをクリックする

- 「カメラウィザード」ダイアログボックスが閉じます。
- 「カメラドライブとカードリーダー」の右側のドライブ名が、操作6で指定したドライブに変わります。
- このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。カードのデータは、My Documents¥SANYO_PEXにコピーします。
- 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

Macintosh の場合

1 カメラをカードリーダーモードにする [P125]

- デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。

2 フォトエクスプローラをインストールしたフォルダを開き、フォトエクスプローラのプログラムアイコンをダブルクリックする

- フォトエクスプローラが起動します。

3 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。

4 「カメラフラッシュドライブ」欄のアイコンをクリックする

- 「取り外し可能なドライブを選択する」ダイアログボックスが開きます。

5 パソコンに接続したカメラのドライブ(名称未設定)をクリックし、[選択] ボタンをクリックする

- 「カメラフラッシュドライブ」欄のドライブ名が「名称未設定」になります。

6 「サブフォルダを作成」チェックボックスを ON にする

- このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。
- 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像データをパソコンにコピーする

カメラに装着したカード内の画像データをパソコンにコピーします。

1 カードリーダーモードにする [P125]

2 フォトエクスプローラを起動する

3 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

4 [開始] ボタンをクリックする

- コピーを開始します。
- 以下のフォルダ内に日付と時間名のフォルダを自動的に生成し、その中にデータをコピーします。
  Windowsの場合：My Documents￥SANYO_PEX
  Macintoshの場合：Macintosh HD:Ulead Photo Explorer
- コピーが終わったら、コピーの完了を示すダイアログボックスが出ます。

5 コピーが終わったら、[OK] ボタンをクリックする

- コピーしたデータをサムネイルウィンドウに表示します。

フォトエクスプローラでできること

フォトエクスプローラは、デジカメ画像からDVカメラのビデオファイル、MP3･WAVなどの音声ファイルまでマルチファイルを視覚的に統合管理できるソフトです。

基本画面

階層表示ウィンドウ

フォルダツリー構造をリストで表示できます。

サムネイルウィンドウ

さまざまなファイル形式データを一度にサムネイルに表示することができます。
フォルダ内の指定した複数のファイル名を一括して変更できます。

プレビューウィンドウ

選択したファイルを表示することができます。
動画クリップ・音声データが再生できます。

スライドショー

画像をいろいろ並べながら、スライド形式で画像を見ることができます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像管理や編集ができます

再生機能

画像をフルサイズまたは全画面で表示することができます。
キーボード入力やツールバーボタンのクリック、メニュー選択で、画像の閲覧やスライドショー再生などの操作ができます。

画像管理・編集機能

画像データのコピーや削除、ファイル名の変更ができます。
また、回転やフリップなど、編集したデータを保存することもできます。

画像調整

切り抜きやコントラスト、明るさやカラーバランスなどの調整が簡単にできます。
作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。

豊富なスライドショー機能

スライドショー

静止画と動画クリップが混在したスライドショー再生ができます。
画面が切り替わる時のエフェクトパターン(切替効果)も、数多く用意しています。

動画クリップデータのデータ形式を変換できます

デジタルカメラで撮影した動画クリップ(Quick Time 形式)をAVI 形式や MPEG 形式などに変換することができます。

■フォトエクスプローラのお問い合わせは?

フォトエクスプローラに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせ先は、以下のとおりです。

メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm

テクニカルサポートページ
http://www5.ulead.co.jp/support/

TEL：045-226-1966
受付時間：月曜日～金曜日（土、日、祝、年末年始を除く）
10:00～12:00、13:00～17:00

＜シリアル番号の見かた＞

● フォトエクスプローラの[ヘルプ]メニューから[Ulead Photo Explorer バージョン8.5]を選んでください。製品情報を記載したダイアログボックスが出ますので、シリアル番号を確認してください。

MotionDirectorについて

MotionDirector は、カメラで撮影した動画クリップの手ぶれを取り除いたり、カメラを横方向に移動しながら撮影した動画クリップから 1 枚のパノラマ静止画像を作成するソフトウェアです。
以下にMotionDirectorの概要を紹介しますので、詳しくはMotionDirectorのオンラインヘルプを参照してください。

取り込み

MotionDirectorが読み込めるファイルの形式は
- ・MOV
- ・MP4

のいずれかです。
また、それぞれの圧縮コーデックは、以下のとおりです。

形式	動画コーデック	音声コーデック
MOV	Motion JPEG	WAVE
MP4	ISO MPEG-4	AAC

フレームサイズは、VGA(640x480画素)以下です。

書き出し形式と再生

MotionDirectorは、以下の形式でファイルを書き出すことができます。

手ぶれ補正の場合：MPEG-4、MOV
パノラマ合成の場合：JPEG、BMP、TIFF、QuickTimeVR

QuickTime VR形式で保存された画像は、Apple社のQuickTimePlayerを使用することでVR空間画像を見ることができます。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
		電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換してください。
	 表示が出る？	電池残量が少なくなった	別売のACアダプターを使用するか、新しい電池に交換してください。
撮影	タッチセンサーが効かない？	手ぶくろをしている	シャッターボタンを押す手の手ぶくろを脱いでください。
	アクセスランプが点滅している？	記録データをカードまたは内蔵メモリーに書き込んでいる	故障ではありません。アクセスランプが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは？	—	10M 6M-H 6M-S 4M：サイズが A4 以上の印刷やトリミング(部分拡大)して印刷する場合に適しています。 2M：通常の写真(サービス版)サイズで印刷する場合に適しています。 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは？	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームは CCD に写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには？	—	シーンセレクト機能を風景モード に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカス MF にして、焦点距離を∞に設定してください。
	屋外で撮影した動画クリップが真っ白になっている？	—	フリッカー軽減の設定を切 FR にしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
液晶モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	液晶の性質による現象	故障ではありません。 輝点などは液晶モニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、ピントを固定してから、シャッターボタンを静かに押してください。
	ズームジャンプ再生できない？	ズームジャンプ再生で拡大して保存した画像や動画クリップはズームジャンプ再生ができません。	故障ではありません。
	画像が出ない(?表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、液晶モニターや撮影画像に縦の縞模様(スミア)が発生することがある	故障ではありません。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い?	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い?	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。 光学ズームの範囲内で撮影してください。
	パソコンで加工した画像をカメラで再生したい?	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
印刷	PictBrige印刷中にメッセージが出た?	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[カード残量がありません][内蔵メモリー残量がありません]表示が出る?	カードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	不要なデータを消去するか、空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプターおよび電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	海外で使用できる?	—	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。AC アダプターや電源コードについては、最寄のお客さまご相談窓口にご相談ください。
	[システムエラー]表示が出た?	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても [システムエラー] 表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	新しい電池を装着する	19
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
		スロットカバーを完全に閉じていない	スロットカバーを完全に閉じる	
	なにもしていないのに電源が切れた	パワーセーブ機能が働いた	[ON/OFF] ボタン、シャッターボタン、再生ボタン、[MENU] ボタン、[SET] ボタンのいずれかを押す	22
撮影	シャッターボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	パワーセーブ機能が働いている時は電源を入れた後、撮影する 電源が切れている場合は、[ON/OFF] ボタンを押す	22
	シャッターボタンを押しても撮影ができない	撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	18
			不要な画像を消去してから撮影する 必要な画像は保存してから消去する	84・151

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	方向ボタンや [MENU] ボタンなどの操作が効かない	シャッターボタンに指が触れ、フォーカスロックをした状態になっている	シャッターボタンから指を離して、ボタンを操作する	―
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	41
		電池が消耗している	新しい電池を装着する	19
	デジタルズームが使えない	静止画モードを 10M に設定している デジタルズームの設定を [OFF] にしている	静止画モードの設定を 6M-H 6M-S 以下にする デジタルズームの設定を [ON] にする	62・109
	操作音が短い周期でピピピと鳴り、セルフタイマー撮影ができない	電池が消耗している	新しい電池を装着する	19
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありません ズームスイッチをはなし、再度押す	40
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	74
液晶モニター	再生画像が出ない	再生モードになっていない	再生ボタン[▶]を押す	33

困った状態になった時（つづき）

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	26
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	173
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	41
			露出補正をする	43
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	74
	動画クリップ画像がちらつく	蛍光灯の下で撮影した	フリッカー軽減の設定をする	77
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	41
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	43
		ISO 感度の設定が正しくない	ISO 感度の設定を ISO·A にする	74
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	フォーカスを正しく設定する	31・63・72
		フォーカスの設定が正しくない		
		シャッターボタンを押す時にカメラが動いた	カメラを正しく構え、シャッターボタンを正しく押す	26・31
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	―

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	41
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	75
	画像の一部が欠けている	レンズやレンズ開口部に指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	26
	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードまたは内蔵メモリーに画像がない	撮影してから再生する	31・36
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	82
その他	[プロテクトされています]表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	82
	1GB のカード使用時、「撮影可能枚数/撮影可能時間[P175]」に記載の記録ができない	使用のカードが、1GB未満の記録容量である	カードの仕様によっては、1GB の容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	175

困った状態になった時（つづき）

シーンセレクト機能およびフィルター機能設定時の制限事項

静止画撮影時

AUTO	フィルターを使う場合は、フォーカスレンジを  に設定できません。
	フォーカスレンジを  に設定できません。
	
	
	
	フォーカスレンジを  に固定します。 フラッシュは  に固定です。

動画クリップ撮影時

AUTO	フィルターを使う場合は、フォーカスレンジを　に設定できません。
	フォーカスレンジを　　に設定できません。
	フォーカスレンジを　に固定します。

シーンセレクト機能とフォーカスレンジ設定について

- フォーカスレンジを　に設定すると、シーンセレクト機能は AUTO になります。
- フォーカスレンジを　　または MF に設定しても、シーンセレクト機能を AUTO または　以外に設定すると、フォーカスレンジの設定は　になります。

仕　様

カメラの仕様

形式	CCDデジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	デジタル記録
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：**JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**QuickTime Movie(Photo-JPEG) （映像のみ：音声記録はなし）
記録媒体	内蔵メモリー：15MB 外部メモリー：SDメモリーカード、マルチメディアカード
カメラ部有効画素数	約600万画素
撮像素子	1/2.5型CCD、総画素数：約637万画素、インターレーススキャン、原色フィルター
記録画素数	10M：3,680 ×2,760 ピクセル(1枚撮影のみ) 6M-H：2,816 ×2,112 ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 6M-S：2,816 ×2,112 ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 4M：2,288 ×1,712 ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 2M：1,600×1,200 ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 0.3M：640×480 ピクセル(1枚撮影･連写撮影のみ) 320：320×240ピクセル、15フレーム / 秒(動画クリップ撮影のみ) 160：160×120ピクセル、15フレーム / 秒(動画クリップ撮影のみ)

付録

仕様

ホワイトバランス	フルオート TTL、マニュアル設定可能
レンズ	光学 3.0 倍ズームレンズ f = 5.8mm ～ 17.4mm （35mm フィルムカメラ換算 f = 35mm ～ 105mm） オートフォーカス、5 群 6 枚（非球面 2枚）、ND フィルター内蔵
絞り	開放 F=2.8（Wide）～4.9（Tele） NDフィルター選択方式
露出制御方式	プログラムAE 撮影設定画面による露出補正機能あり（0±1.8EV 0.3EVステップ）
測光方式	多分割測光、中央重点測光、スポット測光
撮影範囲	通常撮影　：10cm ～∞（Wide）、40cm ～∞（Tele） マクロ撮影：5cm ～ 70cm（Wide）、 40cm ～ 70cm（Tele）
デジタルズーム	撮影時：1～4倍（解像度10Mを除く） 再生時：1～57.5倍（解像度により異なる）
シャッタースピード	1枚撮影モード：1/2～1/1,500秒 （最長約2秒：シーンセレクト機能花火 時など） （フラッシュ発光時：1/30 ～ 1/1,500 秒） 連写撮影モード：1/2～1/1,500秒 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒
感度	1枚撮影モード、連写撮影モード： オート（ISO50～200相当）/ISO50、100、200、400相当（撮影設定画面による切り替え） 動画クリップ撮影モード： オート（ISO100～400相当）/ISO100、200、400、800相当(撮影設定画面による切り替え）
液晶モニター	2.0型TFTカラー液晶 約8.6万画素 （視野率約 100%） 明るさ調整：7段階

フラッシュ撮影範囲	GN=6.5 {約10cm〜3.2m(Wide) 約40cm〜1.8m(Tele)	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減	
フォーカス	TTL方式AF(9点測距/スポット)・マニュアルフォーカス(14段階)	
セルフタイマー	作動時間約2秒/10秒	
日付・時刻	撮影時画像データに同時記録	
使用環境	温度	0〜40℃(動作時)、−20〜60℃(保管時)
	湿度	30〜90%(動作時、非結露) 10〜90%(保管時、非結露)
電源	電池	単3形アルカリ乾電池×2 本 下記の電池も使用できます。 ● 単3形ニカド電池(当社製 N-3UV)×２本 ● 単３形ニッケル水素電池(当社製 HR-3UF)×２本 ※単３形マンガン乾電池は使用できません
	AC アダプター(別売)	DSA-34A
大きさ(突起部含まず、奥行きは最薄部)		93.1(幅)× 60.5(高さ)× 27.1(奥行き)mm
質量		約124g(電池・カード別)

カメラ各端子の仕様

USB/AV（通信／音声・映像出力）端子	専用ジャック	
	USB	USB 2.0 High-speed
DC IN（外部電源入力）端子	DC3.4V（別売ACアダプターDSA-34A専用）	

電池寿命

	アルカリ乾電池（付属）	ニッケル水素電池（別売：HR-3UF）
撮影可能枚数 *1	120 枚	360 枚
再生可能時間 *2	380 分	530 分

*1：CIPA規格によります（松下電器産業㈱製64MBSDメモリーカード使用時）。

*2：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合です。

- 常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用した時は、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間

内蔵メモリー（15MB）、市販品のSDメモリーカード（128MB、1GB）を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影モード設定	解像度設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類*[1]	
			128MB使用時	1GB使用時
1枚撮影モード 連写撮影モード	10M *[2]	4枚	37枚	290枚
	6M-H	5枚	42枚	330枚
	6M-S	7枚	64枚	495枚
	4M	11枚	96枚	746枚
	2M	22枚	191枚	1470枚
	0.3M	116枚	979枚	7550枚
動画クリップ撮影モード	320	1分30秒	12分39秒	1時間37分
	160	2分45秒	23分11秒	2時間59分

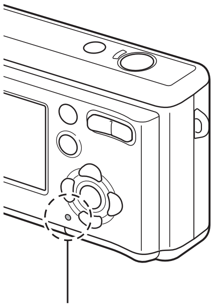
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

*[1]：ハギワラシスコム製SDメモリーカードMシリーズを使用した値です。
*[2]：1枚撮影時のみ設定可能です。

アクセスランプについて

カメラのアクセスランプは、さまざまな動作状態によって点灯、点滅、消灯します。

点灯/点滅状態		カメラの状態
消灯	ー	電源OFF
点灯	ー	パソコン・プリンタ接続時
点滅	遅い	パワーセーブ状態
	速い	エラーまたはエラー表示時、警告時
	さらに速い	カード・内蔵メモリーアクセス中、



付録 仕様

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROMの使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することはできません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

本文中では、Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、Microsoft® Windows® XP operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

索　引（50音順）

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

操作

あ行

か行

さ行

た行

は行

お客さまご相談窓口

■**まずはお買い上げの販売店へ…**

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口>

三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30

◆**北海道地区**
札　幌　☎(011)290ー1522

◆**東北地区**
仙　台　☎(022)714ー6137

◆**関東地区**
東　京　☎(03)3815ー1111

◆**中部・北陸地区**
名古屋　☎(052)533ー5245

◆**近畿・四国地区**
大　阪　☎(06)6994ー9570

◆**中国地区**
広　島　☎(082)297ー6067

◆**九州・沖縄地区**
福　岡　☎(092)263ー7629

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX(06)6994ー9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は、変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、
ホームページhttp://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまご相談窓口（つづき）

修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口>

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～金曜日　　9：00～18：30
　　　　　土曜・日曜・祝日　9：00～17：30

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東コールセンター　東京 ☎(03)5302ー3401
西コールセンター　大阪 ☎(06)4250ー8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区
札　幌　☎(011)833ー7888

◆東北地区
仙　台　☎(022)382ー2213

◆長野地区
長　野　☎(0263)26ー1772

◆新潟地区
新　潟　☎(025)285ー2451

◆福島地区
福　島　☎(024)945ー6811

西コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区
金　沢　☎(076)237ー6650

◆東海地区
名古屋　☎(052)979ー3456

◆中国地区
広　島　☎(082)293ー9333

◆四国地区
高　松　☎(087)844ー8321

◆九州地区
福　岡　☎(092)922ー9311

◆沖縄地区　沖　縄　☎(098)944ー5018
受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：30

※「持込修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）9：00～17：30

北海道地区

北海道

札　幌　☎(011)831−9201
〒003-0013　札幌市白石区中央三条4−1−36

函　館　☎(0138)48−8301
〒041-0824　函館市西桔梗町589−295

苫小牧　☎(0144)33−3421
〒053-0042　苫小牧市三光町2−2−5

旭　川　☎(0166)22−2421
〒070-0073　旭川市曙北3条7−3−3

北　見　☎(0157)23−4871
〒090-0037　北見市山下町4−7−14

釧　路　☎(0154)22−1576
〒085-0021　釧路市浪花町7−7

東北地区

宮城県

仙　台　☎(022)384−0444
〒981-1225　名取市飯野坂3−4−8

青森県

青　森　☎(017)729−3401
〒030-0141　青森市大字上野字山辺29−5

八　戸　☎(0178)28−9225
〒039-1121　八戸市卸センター 1−6−7

岩手県

盛　岡　☎(019)635−0136
〒020-0863　盛岡市南仙北1−13−6

水　沢　☎(0197)23−6621
〒023-0003　水沢市佐倉河字羽黒田45

山形県

山　形　☎(023)641−1769
〒990-2432　山形市荒楯町1−21−30

酒　田　☎(0234)23−3817
〒998-0842　酒田市亀ケ崎6−7−16

東北地区

秋田県

秋　田　☎(018)862−6551
〒010-0925　秋田市旭南3−2−67

福島県

郡　山　☎(024)945−6793
〒963-0111　郡山市安積町荒井字戸蘭塔1−7

関東・甲信越地区

埼玉県

さいたま　☎(048)664−2319
〒331-0812　さいたま市北区宮原町1−30

坂　戸　☎(049)284−8900
〒350-0214　坂戸市千代田5−3−17

栃木県

栃　木　☎(028)653−2811
〒321-0106　宇都宮市上横田町1302−12

茨城県

茨　城　☎(0298)64−4751
〒300-3261　つくば市花畑2−15−3

水　戸　☎(029)251−4125
〒311-4152　水戸市河和田3−2386−1

群馬県

群　馬　☎(027)362−1151
〒370-0001　高崎市中尾町池の内441

西関東　☎(0276)22−7702
〒373-0015　太田市東新町72−2

新潟県

新　潟　☎(025)285−2431
〒950-0973　新潟市上近江3−5−18

長　岡　☎(0258)24−0705
〒940-0029　長岡市東蔵王2−3−46

上　越　☎(025)543−3535
〒942-0074　上越市石橋2−2−9

お客さまご相談窓口（つづき）

関東・甲信越地区

東京都
城　東　☎(03)3607−3191
〒125-0051　葛飾区新宿4−10−15
城　北　☎(03)3958−1261
〒173-0021　板橋区弥生町72−5
城　西　☎(03)3376−3361
〒151-0073　渋谷区笹塚3−1−13
武蔵野　☎(042)364−7721
〒183-0045　府中市美好町2−3−1

神奈川県
戸　塚　☎(045)827−2831
〒224-0806　横浜市戸塚区上品濃9−14
相模原　☎(042)742−2272
〒228-0805　相模原市豊町17−11
平　塚　☎(0463)55−3926
〒254-0014　平塚市四之宮3−20−63

千葉県
千　葉　☎(043)241−7311
〒260-0025　千葉市中央区問屋町5−20
鎌ケ谷　☎(047)441−0111
〒273-0105　鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県
山　梨　☎(055)226−2561
〒400-0035　甲府市飯田4−8−23

中部地区

静岡県
静　岡　☎(054)261−4151
〒420-0813　静岡市長沼885
沼　津　☎(055)963−1000
〒410-0861　沼津市真砂町3−1
浜　松　☎(053)461−8685
〒435-0016　浜松市和田町795−2

長野県
松　本　☎(0263)26−1107
〒390-0835　松本市高宮東1−35
長　野　☎(026)299−9501
〒388-8006　長野市篠ノ井御幣川字東松島1000−2

石川県
金　沢　☎(076)237−7811
〒920-0062　金沢市割出町627

富山県
富　山　☎(076)422−7020
〒939-8211　富山市二口町1−13−8

福井県
福　井　☎(0776)22−6082
〒918-8231　福井市問屋町1−17

三重県
三　重　☎(059)228−8126
〒514-0838　津市岩田10−3

中部地区

愛知県
名古屋　☎(052)979−3455
〒461-0011　名古屋市東区白壁5−41
岡　崎　☎(0564)23−3418
〒444-0065　岡崎市柿田町1−2

岐阜県
岐　阜　☎(058)246−3417
〒501-6006　岐阜県羽島郡岐南町伏屋1−35

近畿地区

大阪府
大　阪　☎(06)6992−6235
〒570-0086　守口市竹町4−13
大阪南　☎(06)6761−4600
〒543-0001　大阪市天王寺区上本町5−1−14　三洋ビル2F
大阪東　☎(0729)65−1811
〒578-0903　東大阪市今米2−3−29

近　畿　地　区

阪　和　☎(072)221−8571
〒590-0959　堺市大町西3−1−16

京都府
京　都　☎(075)672−0877
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹　☎(0773)27−3458
〒620-0856　福知山市土師宮町1−66

奈良県
奈　良　☎(0744)22−7888
〒634-0837　橿原市曲川町7−1−31

滋賀県
滋　賀　☎(077)545−4221
〒520-2134　大津市瀬田1−1−5

和歌山県
和歌山　☎(073)436−3110
〒641-0006　和歌山市中島369
田　辺　☎(0739)22−7520
〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

兵庫県
神　戸　☎(078)651−3951
〒652-0897　神戸市兵庫区駅南通2−1−11
阪　神　☎(06)6432−3401
〒661-0026　尼崎市水堂町4−17−6
姫　路　☎(0792)96−2141
〒670-0981　姫路市西庄字八町108
淡　路　☎(0799)22−2702
〒656-0101　洲本市納字横竹308−1

中　国　地　区

広島県
広　島　☎(082)293−6511
〒733-0012　広島市西区中広町3−17−5
福　山　☎(084)954−4101
〒721-0952　福山市曙町4−22−10

岡山県
岡　山　☎(086)245−1634
〒700-0973　岡山市下中野703−101

中　国　地　区

津　山　☎(0868)22−6133
〒708-0002　津山市上河原239−10

鳥取県
鳥　取　☎(0857)24−2930
〒680-0843　鳥取市南吉方3−107

島根県
浜　田　☎(0855)22−7883
〒697-0023　浜田市長沢町3049
松　江　☎(0852)23−1183
〒690-0017　松江市西津田4−1−14

山口県
山　口　☎(083)973−3391
〒754-0024　山口県吉敷郡小郡町若草町2−6

四　国　地　区

愛媛県
愛　媛　☎(089)971−3342
〒791-8036　松山市高岡町148−1
宇和島　☎(0895)27−1818
〒798-0077　宇和島市保田甲934−3

香川県
香　川　☎(087)843−1840
〒761-0104　高松市高松町2175−10

高知県
高　知　☎(088)860−0229
〒781-5106　高知市介良乙1044

徳島県
徳　島　☎(088)699−4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150−2

九　州　地　区

福岡県
福　岡　☎(092)928−3414
〒818-8534　筑紫野市紫6−1−1
北九州　☎(093)521−5286
〒802-0023　北九州市小倉北区下富野2−10−28

お客さまご相談窓口（つづき）

九　州　地　区	沖　縄　地　区
中九州　☎(0942)21−3534 〒830-0052　久留米市上津町字赤坂 1890−2 **長崎県** 長　崎　☎(095)824−5628 〒850-0012　長崎市本河内3−21−43 佐世保　☎(0956)31−7635 〒857-1162　佐世保市卸本町17−1 **熊本県** 熊　本　☎(096)357−1122 〒861-4106　熊本市南高江3−2−88 八　代　☎(0965)35−3483 〒866-0871　八代市田中東町12−7 **大分県** 大　分　☎(097)543−3454 〒870-0822　大分市大道町3−4−32 **宮崎県** 宮　崎　☎(0985)29−3441 〒880-0036　宮崎市花ケ島町観音免883 **鹿児島県** 鹿児島　☎(099)251−4615 〒890-0068　鹿児島市東郡元町11−10	**沖縄県** 沖　縄　☎(098)944−5018 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇 1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P182]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DSC-S6)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間　9:00〜18:30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

◆北海道地区	☎札　幌(011)290-1522
◆東北地区	☎仙　台(022)714-6137
◆関東地区	☎東　京(03)3815-1111
◆中部・北陸地区	☎名古屋(052)533-5245
◆近畿・四国地区	☎大　阪(06)6994-9570
◆中国地区	☎広　島(082)297-6067
◆九州・沖縄地区	☎福　岡(092)263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

◆三洋電機(株)お客さまセンター　〒570-8677
大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX(06)6994-9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋コンシューママーケティング(株)の「修理相談窓口 [P183]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜11:50、13:15〜17:00

DIカンパニー　お客さま相談係

電話　大東（072）870-4184（直通）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　　番	DSC-S6
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	電話(　　　)　　—
もよりのお客さま ご相談窓口	電話(　　　)　　—

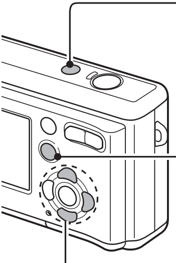
以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 98SE □Windows 2000 □Windows Me □Windows XP	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

MEMO

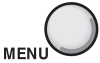
MEMO

CHANGING THE DISPLAY LANGUAGE

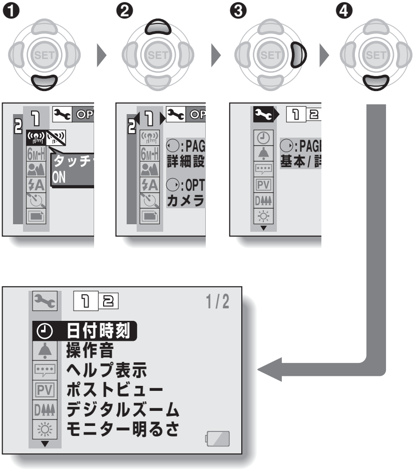


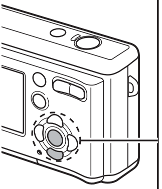
1 Turn the camera on.

2 Press the MENU button.

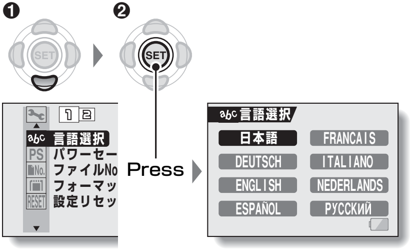


3 Display the Option Screen.

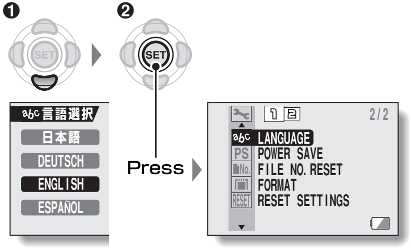




4 Display the Select Language Screen.



5 Set the selected language.



撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

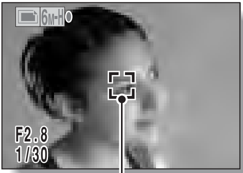
基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

このカメラはオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

このカメラのオートフォーカスは、シャッターボタンに触れた時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、液晶モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。



ターゲットマーク

●ピントが合わない原因

1：ピントが合う前にシャッターボタンを押した

2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

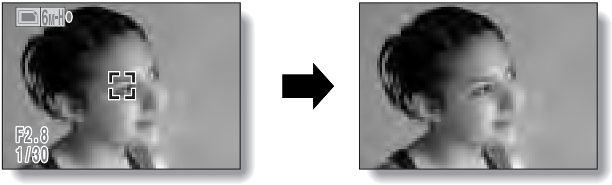
3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- マクロモード[P63]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには

①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えてシャッターボタンに触れてください。
③液晶モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいてシャッターボタンを静かに押し込んでください。

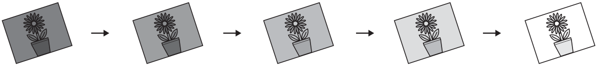
このように、落ち着いてシャッターボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。



■露出設定が難しい場合の撮影は？

逆光や窓越しの撮影では、露出を補正して撮影します。しかし、最適な露出の補正が大変難しくなる場合があります。また、一枚ずつ露出補正をしてから撮影するのは面倒です。このような場合に便利な機能が「オートブラケットショット」です。

オートブラケットショットは、一度シャッターボタンを押すと、自動的に露出を変えながら7枚を連写撮影します（解像度6M-H 6M-Sでは5枚）。オートブラケットショットで撮影しておいて、後から最適な露出で撮影した一枚を保存することができます。



付録 撮影のヒント

撮影のヒント(つづき)

■動きのある被写体の撮影は？

運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません。動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

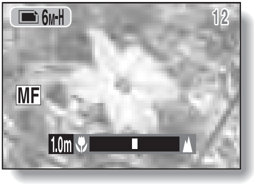
●ピンボケの原因

オートフォーカスは、シャッターボタンに触れた時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスにシャッターボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには（マニュアルフォーカスモードを活用する[P64]）

このカメラのフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。

シャッターボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。



●撮影のしかた

①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。

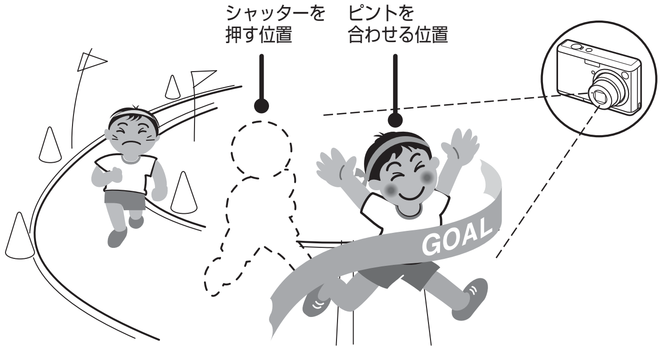
②被写体が設定した焦点距離に来たら、静かにシャッターボタンを押し込みます。

＜マニュアルフォーカスの利点＞

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

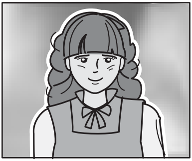
＜マニュアルフォーカスの有効な使いかた＞

- 動きが速い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前にシャッターボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。



シーンセレクト機能を使った撮影

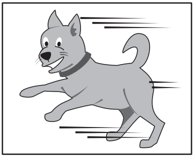
■人物を撮影しよう(ポートレートモード)



ポイント：
- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

解説：
- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう(スポーツモード)



ポイント：
- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずにシャッターボタンを押す

解説：
- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズにシャッターボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう（夜景モード ）

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる



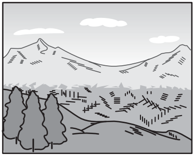
解説：

- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。三脚を使うか、三脚がない場合は壁や柱を利用して、カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう（風景モード ）

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する



解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、脇をしめてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。三脚などでカメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。

http://www.sanyo-dsc.com/

三洋電機株式会社

パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

1AG6P1P2718--
SX813/J（0905HS-CA）

PRINTED WITH SOY INK™

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。